

CDミュージックプレーヤ

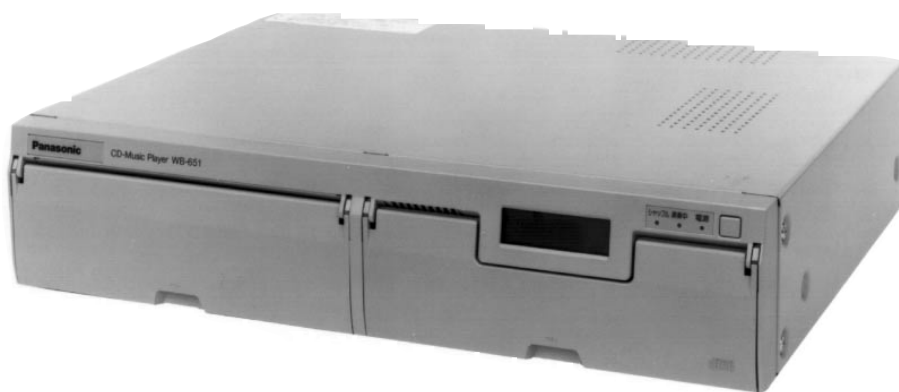
品番 WB-655

取扱説明書

(工事説明付)

この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと大切に保存し、必要なときにお読みください。
保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店から
お受け取りください。

保証書別添付



上手に使って上手に節電

もくじ

最初にお読みください

安全上のご注意	4
上手にお使いいただくために	6

ご使用の前に

コンパクトディスク(CD)について	7
各部の名前と働き	8
前面	8
表示画面	9
後面	9

基本操作

演奏のしかた	10
演奏する	10
2曲目以降の曲から演奏するときは	12
演奏中に曲目を変えたいときは	12
シャッフル演奏について	14
演奏状態メモリーについて	14
モニタボリュームの調整のしかた	15
表示画面の輝度調整	16
演奏表示画面の切り換えかた	17
演奏表示画面の種類	17
切り換えかた	18

カード演奏

カード演奏について	19
演奏のしかた	20

各種機能の設定

各種機能について	21
機能設定の基本操作手順	22
設定のしかた	23
各音量を設定する	23
時刻を合わせる	24
0秒リセット機能を実行する	26
音量レベルを調整する	27
フェーダを設定する	28
1時間調整機能を実行する	29
表示画面の輝度を調整する	30
主音量機能を切り換える	31
ミキシング音量について	32
各種機能の工場出荷時状態(初期値)	33

設置のしかた (工事説明)

設置上のお願い 34
 ラックへの取り付けかた 35
 接続のしかた 36
 外部演奏機器の接続 36
 外部アンプの接続 36
 プログラムコントローラの接続 37
 本機を複数台使用するときの接続 39
 RS-232Cによる接続 40
 時計同期入力端子の接続 41
 動作中出力端子の接続 43
 システムアースの接続 43
 DIPスイッチの設定 44
 設定のしかた 44
 DIPスイッチ機能の詳細説明 45

付 録

故障と思われましたら 48
 定格・付属品 50
 設定シート 51
 保証とアフターサービス 裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

必ず販売店に依頼してください。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない



分解禁止

火災や感電の原因となります。

修理や点検は販売店にご連絡ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなどそのまま使用すると、火災の原因となります。

ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

不安定な場所に置かない



禁止

落下などでけがの原因となります。

電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く



コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

抜くときは電源プラグを持って抜いてください。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない



禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がとまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

濡れた手で電源プラグの抜き差しはしない



禁止

感電の原因となります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

⚠ 注意

通風孔をふさがない



禁止

内部に熱がこもり火災の原因となります。

湿気やほこりの多い場所に設置しない



禁止

火災や感電の原因となります。

踏み台や腰掛けにしない



禁止

けがの原因となります。

上手にお使いいただくために

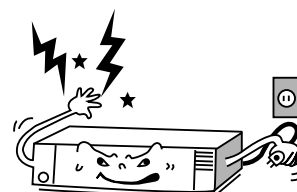
「安全上のご注意」と同様に、以下のこともお守りください。

初めて使用されるときは

24時間以上の連続通電を行い、内蔵のバックアップ電池を充電してください。
本機の停電保証期間は20日間ですが、この電池の充電が不十分ですと停電保証期間が短くなり、長期間停電したときなど設定した内容が消えてしまう場合があります。

雷が近く、落雷の恐れがあるときは

電源プラグをコンセントから抜いてください。万一、近くに落雷したときでも、部品に高電圧がかかるのを防ぐことになります。



結露について

次のような場合、本機のレンズやディスクに露(水滴)がついて正しく演奏できなくなる場合があります。

- ・ストーブをつけた直後
- ・湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき
- ・冷えたところから、急に暖かい部屋に移動したとき

このようなときは、電源を入れてから1~2時間ほど待ってからご使用ください。もし、何時間たっても正しく動作しないときは、販売店にご連絡ください。

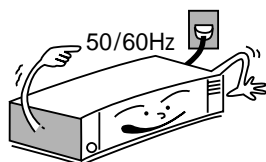
お手入れは

- ・電源を切って、乾いた布で拭いてください。ホコリがとれにくいときは、うすめた台所用洗剤を布に浸み込ませ、軽く拭いてください。
- ・ベンジン、シンナー類は絶対に使用しないでください。ケースが変形したり、変色することがあります。
- ・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。



ご使用の電源は

AC100 Vです。50 Hz地域、60 Hz地域のどちらでも使用できます。



コンパクトディスク(CD)について

ディスクの種類について

本機で演奏できるディスクは、CD-BGMディスクとCD-DAディスクです。

CD-BGMディスクとは

CD-I規格の音声圧縮方式を採用して制定された「CD-BGM規格」に基づくディスクです。音声はCD-I規格のレベルBで記録されており、FM放送レベルの音質で多チャンネル構成による長時間演奏が可能です。曲名情報も記録できますので、放送中の曲名を本機の表示画面で確認することも可能です。一部のディスクには曲名、曲番情報のないものもありますが、そのようなディスクでは曲番表示部に“00”と表示されます。

CD-DAディスクとは

「CD-DA規格」に基づくディスクで、市販のCDはこの規格に基づいて作られています。チャンネルがないため、チャンネルの選択操作はできません。

本説明書では、特にことわりのない限りCD-BGMディスク(曲番情報あり)を前提に説明しています。

音楽ソフトについて

BGMの音楽ソフトは、BGM専門会社とご契約いただくことにより供給されます。市販のCDを演奏される場合は、別売のCDマガジンが必要です。

専門BGMソフトのご利用(BGM専門会社とのご契約) 別紙リスト参照

- ・BGM専門会社とご契約いただくことにより、BGM専用で作成された音楽ソフト(ディスク)が、CDマガジンにセットされて供給されます。
- ・ディスクのタイプはCD-BGM規格に基づくディスク(CD-BGMディスク)が基本ですが、市販CD規格に基づくディスク(CD-DAディスク)も含まれます。
- ・また、ご使用目的に合わせてプログラムされたMM(ミュージックメモリー)カードやお客様専用のメッセージディスクなど、お客様のご要望によって供給されます。

専門BGMソフトは、音環境の様々な演出目的に対して、それぞれ専門的に、十分に吟味された曲の選定や構成、音づくりによって、最適なサウンドにデザインされています。また、著作権に関してもBGMとして安心してご使用いただけます。

長時間演奏(CD-BGMディスクの場合)や、MMカードでの時間帯ごとの雰囲気作りにマッチした運用とあいまって、効果的なBGM環境を実現いただくために、BGM専門会社とのご契約をおすすめします。

ご契約については、お買い上げの販売店またはBGM専門会社にご相談ください。

市販のCDのご利用

市販のCD(CD-DAディスク)を本機で演奏するには、別売のCDマガジン WB-MC5が必要です。

ディスクの格納については、CDマガジンの取扱説明をご覧ください。

メモ

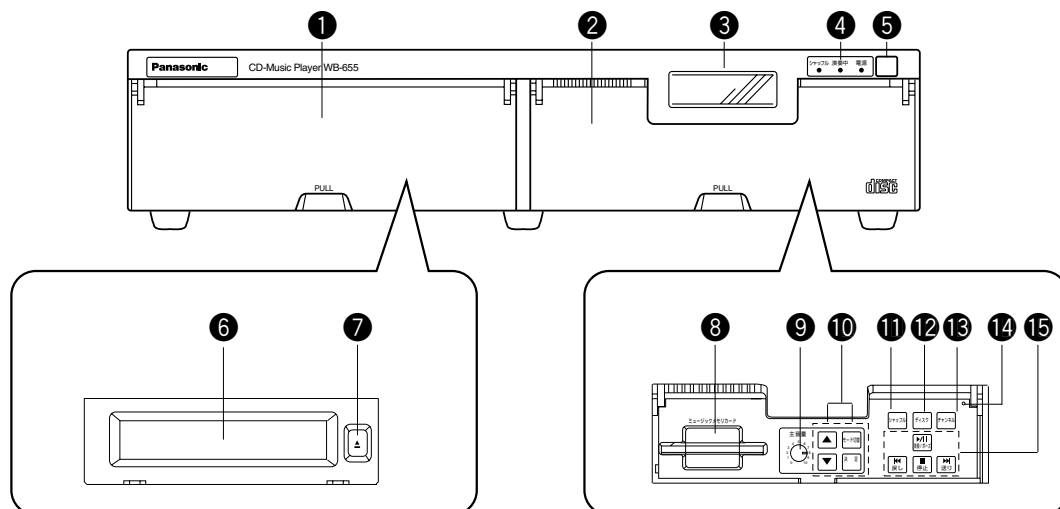
BGM専門会社から供給されるディスクマガジンは、ソフト保護のためディスクの取り出しができないようになっています。誤ってディスクが入れ換わりますとプログラム演奏が正しく行われなため、デ

著作権にご留意ください

市販のCDをご利用になる場合は、楽曲、使用目的、使用形態などによっては、著作権法上、権利者の許諾を要する場合があります。許諾の要・不要は場合によって異なりますので、詳しい内容については「日本音楽著作権協会(JASRAC)」の本部または最寄りの支部へおたずねください。

各部の名前と働き

前面



①CDマガジン挿入口保護カバー

PULLの部分を上にあげるとカバーが開きます。

②操作部保護カバー

PULLの部分を上にあげるとカバーが開きます。

③表示画面

ディスク、チャンネル、曲番や、ボリューム設定値、時刻などを表示します。

④表示ランプ[シャッフル、演奏中、電源]

シャッフル：シャッフル再生の設定をすると点灯します。

演奏中：CDを演奏しているときに点灯します。

電源：電源を入れると点灯します。

⑤電源スイッチ

電源を入/切します。誤操作防止のため、2秒以上押ししないと電源の入/切ができませんようになっています。

⑥CDマガジン挿入口

CDマガジンを挿入します。挿入するときは、カチッと音がするまで押し込みます。

⑦イジェクトボタン[△]

CDマガジンを取り出すときに押します。

⑧MMカード挿入口[ミュージックメモリーカード]

MMカードを挿入します。

⑨主音量つまみ[主音量]

主音量を調節します。

⑩設定キー[、 、モード切替、決定]

この4つのキーで、各種機能の設定をします。

⑪シャッフルキー[シャッフル]

シャッフル演奏をするときに押します。

⑫ディスクキー[ディスク]

次のディスクを選択するときに押します。

⑬チャンネルキー[チャンネル]

次のチャンネルを選択するときに押します。

⑭リセットスイッチ

本機の動作をリセットします。通常は使用しないでください。

⑮操作キー[▶/|| 演奏/ポーズ、◀◀ 戻し、■ 停止、▶▶ 送り]

CDの操作をします。

▶/||：停止中に押すと演奏を開始します。演奏中に押すと一時停止します。

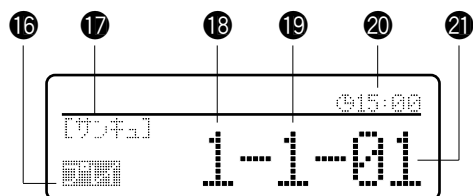
◀◀：演奏中に押すと曲の始めから演奏します。続けて押すとその前の曲の始めから演奏します。

■：演奏中に押すと停止します。

▶▶：演奏中の曲をとばし、次の曲の始めから演奏します。

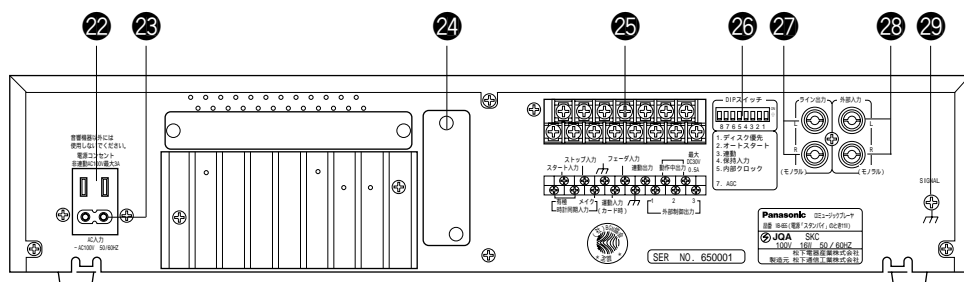
表示画面

工場出荷状態での演奏表示画面上の項目は以下のとおりです。



- ①⑥動作状態
プレイ、スタンバイなど、本機の動作状態を表示します。
- ①⑦曲名
演奏している曲の名前を表示します。ただし、曲名情報のないディスクのときは表示されません。
- ①⑧ディスク
ディスクの番号を表示します。
- ①⑨チャンネル
選択しているチャンネル番号を表示します。
- ①⑩時刻
時刻を表示します。時刻の合わせかたは、24ページをご覧ください。
- ①⑪曲番
演奏している曲の番号が表示されます。

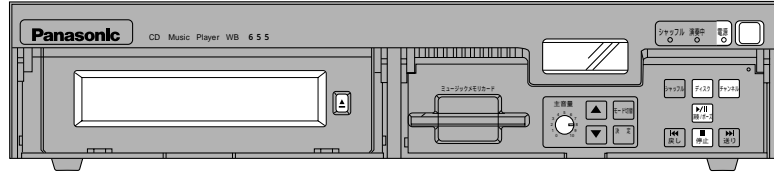
後面



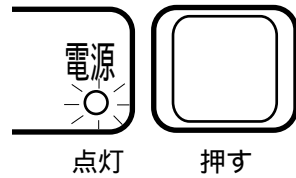
- ②②電源コンセント
AC100 Vを出力します。最大3 Aまでです。
- ②③電源入力端子
付属の電源コードを接続します。
- ②④RS-232Cインターフェイス取り付け部
別売品のRS-232C通信インターフェイス WB-Z12を取り付けるスペースです。
取り付ける際は、販売店にご相談ください。
- ②⑤入出力端子台
外部機器の制御信号などを接続します。(36ページ～43ページ参照)
- ②⑥DIPスイッチ
オートスタートなど、運用に合わせた本機の設定をするためのスイッチです。(44ページ～47ページ参照)
- ②⑦ライン出力端子[ライン出力]
CD、外部入力信号を出力します。(36ページ参照)
- ②⑧外部入力端子[外部入力]
カセットデッキやラジオチューナーなど、外部演奏機器からの信号を入力します。(36ページ参照)
- ②⑨システムアース[SIGNAL GND]
システムを組むときに、他の機器のシステムアースに接続します。(43ページ参照)

演奏のしかた

演奏する

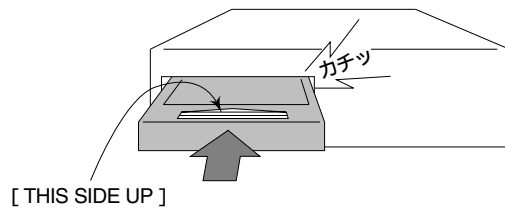


1



電源を入れます。
電源スイッチは2秒以上押してください。電源が入ると電源表示ランプが点灯します。

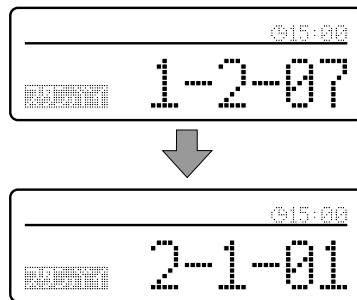
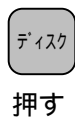
2



CDマガジンを挿入します。
「THIS SIDE UP」と書かれている面を上側にして挿入し、「カチッ」と音がするまで押し込みます。

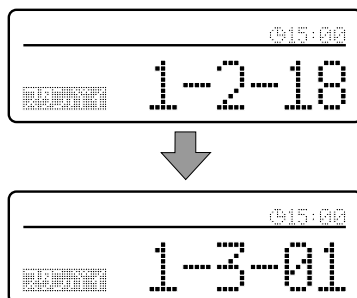
CDマガジンが正しく挿入されていない時にはイジェクトをするようになっています。一度CDマガジンを抜き、確認後、再挿入してください。

3



ディスクを選択します。

4



チャンネルを選択します。
チャンネル無しディスクや市販のCDの場合、この操作は不要です。
手順5へ進んでください。

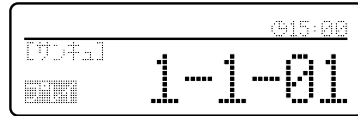
5



演奏/ポーズ
押す



主音量
回す



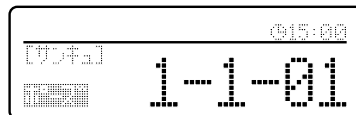
演奏を開始し、音量を調節します。

演奏が始まると、演奏表示ランプが点灯します。

6



演奏/ポーズ
押す

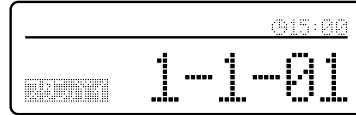


演奏を途中で停止したいときは「演奏/ポーズ」キーを押します。もう一度押すと停止した所から演奏を始めます。

7



停止
押す



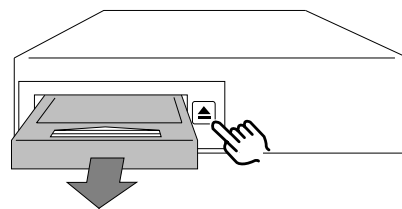
演奏を停止します。

停止すると、演奏表示ランプは消灯します。

8

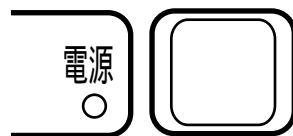


押す



CDマガジンを取り出します。

9



消灯

押す

電源を切ります。

電源スイッチは2秒以上押してください。電源が切れると電源表示ランプが消灯します。

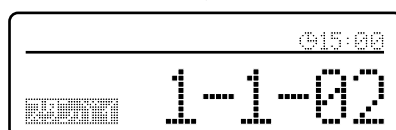
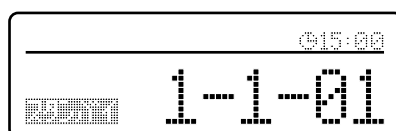
演奏のしかた

2曲目以降の曲から演奏するとき

「演奏する(10,11ページ)」の手順3でチャンネルを選択したあとに、以下の操作をしてください。



押す



チャンネルを選択したときは、1曲目から演奏される状態になっています。ここで「送り」キーを押すことにより、2曲目以降の曲が演奏される状態になります。キーを押すごとに3曲目から、4曲目からと演奏が開始する曲が変わります。

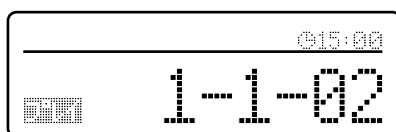
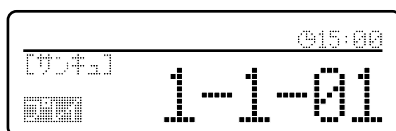
演奏中に曲目を変えたいときは

演奏中に、演奏している次の曲または前の曲や、次のディスクの曲に変えたいときは、以下の操作をしてください。

次の曲に変える場合



押す



前の曲に変える場合



押す

- ・1回押すと現在演奏している曲の先頭から演奏し始めます。
- ・もう1度続けて押すと前の曲の先頭から演奏し始めます。

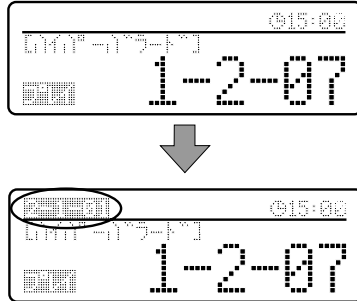
メモ

演奏している曲が1チャンネルの1曲目のときに上記の操作をすると、最終チャンネルの

次のディスクの曲に変える場合

1

ディスク
押す



「ディスク」キーを押します。
表示画面左上に次のディスク
の1チャンネルの1曲目が表示
されます。

2

チャンネル
チャンネル選択
押す

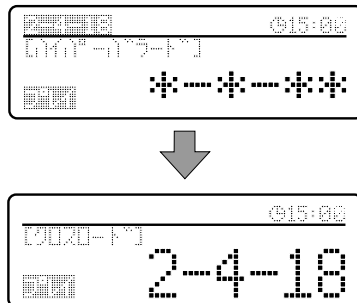
戻し 送り
曲番選択



5秒以内にチャンネルと曲番を
選択します。
5秒以上操作がないと元の画面
に戻ります。

3

演奏/ポーズ
押す



「演奏」キーを押すと、現在演
奏している曲をフェードアウ
トし、選択した曲を演奏しま
す。

メモ

手順3で、フェードアウトせずに指定の曲を演奏したいときは、以下の操作をしてください。

停止
押す



演奏/ポーズ
押す



「停止」キーを押し、続けて
「演奏」キーを押します。

演奏のしかた

シャッフル演奏について

シャッフル演奏とは、同じディスク内全ての曲を順不同に演奏することです。チャンネルもバラバラに選択します。シャッフル演奏に切り換えるときは、以下の操作をしてください。



シャッフル演奏を解除するときは、もう1度「シャッフル」キーを押します。解除されるとシャッフル表示ランプが消灯します。

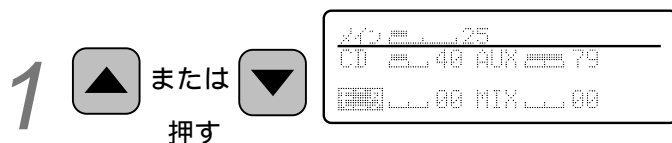
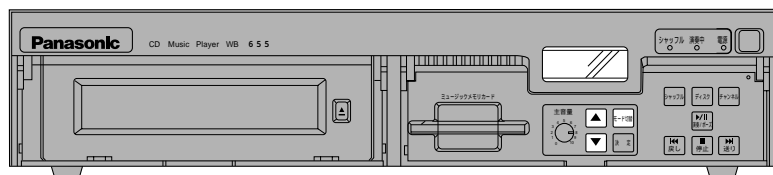
演奏状態メモリーについて

- ・演奏中に1秒以内の停電があったときは、停電回復後に停電前に演奏していた曲の次の曲から演奏を開始します。
- ・演奏中に電源スイッチを切ったときは、演奏していたチャンネル番号、曲番号を記憶し、次に電源スイッチを入れたときには、記憶されている内容の次の曲番号を表示します。
ただし、CDマガジンをイジェクトしていない場合に限りです。
- ・停止中に電源スイッチを切ったときは、表示していたチャンネル番号、曲番号を記憶し、次に電源スイッチを入れたときには、記憶されている内容を表示します。
ただし、CDマガジンをイジェクトしていない場合に限りです。

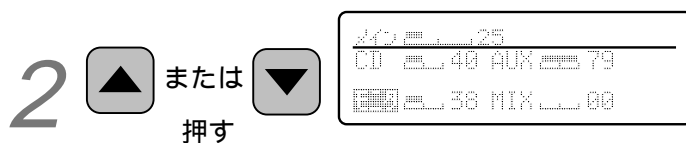
上記の内容は、内蔵バックアップ電池が充電されているときに限りです。

モニタボリュームの調整のしかた

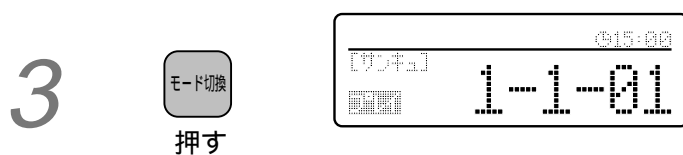
CDの演奏中にモニタボリュームの音量を調整することができます。以下のように操作してください。



モニタボリューム調整モードに切り換えます。調整画面が表示されます。



モニタ音量を調整します。
: 音量が大きくなります。
: 音量が小さくなります。



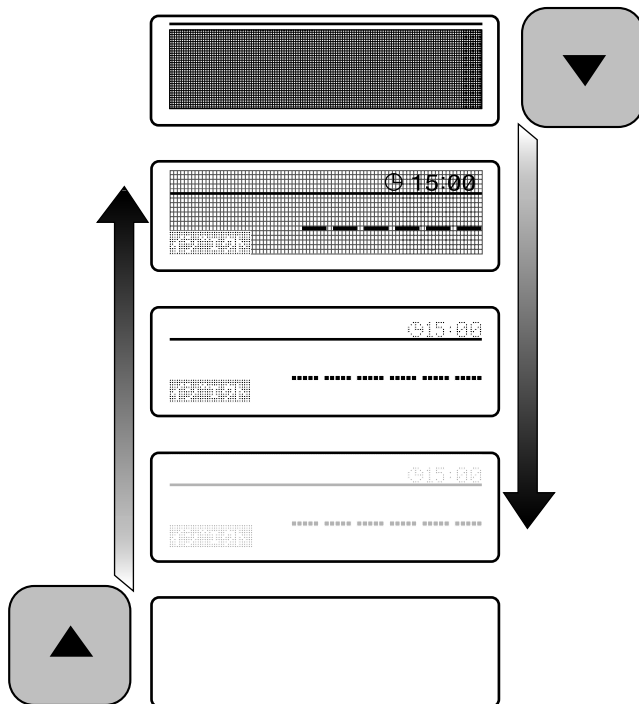
演奏モードに戻します。
演奏表示画面が表示されます。
このスイッチを押さなくても、2秒位操作をしなければ、自動的に演奏表示画面になります。

メモ

- ・モニタボリュームの調整は、CDの演奏中に行ってください。CDの演奏を停止しているときに または キーを押すと、輝度調整のモードになりますので注意してください。
- ・設定モードの中のボリューム設定モードでも、モニタボリュームの調整を行うことができます。(23ページ参照)

表示画面の輝度調整

電源が入っている状態で、表示画面が濃すぎたり薄すぎたりして表示文字が見えにくいときは、以下の操作を行い輝度調整をしてください。



CDの演奏が停止状態のときに
または キーを何回か押し
て輝度を調整します。

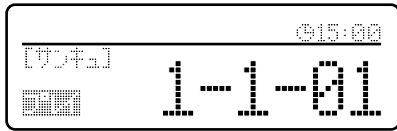
メモ

- ・輝度調整は、CDの演奏が停止中に行ってください。演奏中に または キーを押すとモニタボリュームの調整モードとなりますので注意してください。
- ・演奏中に輝度調整をしたいときは、設定モードの中の輝度調整モードで行うことができます。(30ページ参照)

演奏表示画面の切り換えかた

演奏表示画面の種類

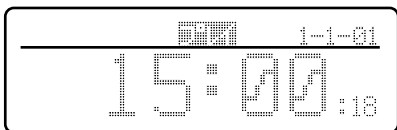
本機の演奏表示画面は4種類あり、お好みの画面を表示することができます。



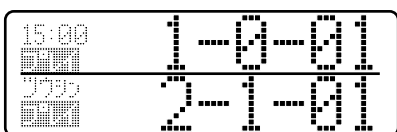
現在選択しているディスクを強調した表示です。
ディスク、曲名、時刻を表示します。
工場出荷時はこの画面に設定されています。



やや時刻を強調した表示です。
ディスク、日付、時刻を表示します。



最も時刻を強調した表示です。
ディスクと時刻を表示します。



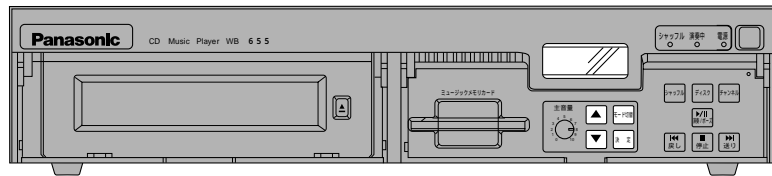
通信制御用の表示です。
本機とRS-232Cで接続されている機器の演奏状態を同時に表示します。
本機の状態は上側、制御される機器の状態は下側に表示します。

メモ

曲名は、曲名情報のあるディスクの場合のみ表示されます。

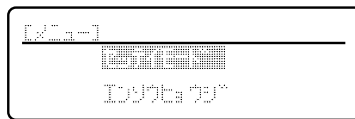
演奏表示画面の切り換えかた

切り換えかた



1

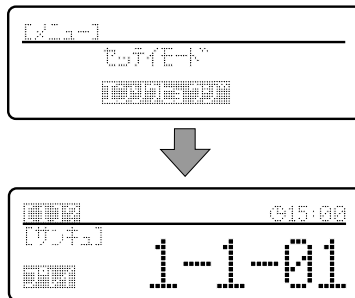
モード切換
押す



メニュー画面を表示します。

2

▲ または ▼
押す

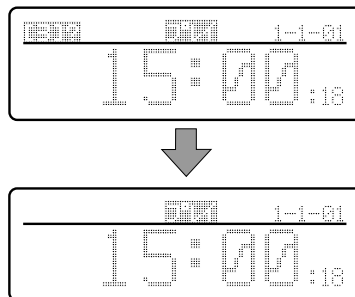


決定
押す

「エンソウヒョウジ」を選択し、
演奏表示画面を呼び出します。

3

▲ または ▼
押す



決定
押す

4種類の演奏表示画面の中か
ら、好みの画面を選びます。

カード演奏について

カード演奏とは

CDマガジン内のディスクの演奏パターンや時間設定などをプログラムしたカードをMM(ミュージックメモリー)カードといいます。

このMMカードを本機に組み込むことにより、MMカードにプログラムされた内容で演奏することができます。これをカード演奏といいます。

MMカードは、CDマガジン内のディスクの演奏パターンや時間設定などをプログラムしたものですから、必ずCDマガジンと1組で使用します。他のCDマガジンと組み合わせたり、CDマガジン内のディスクを入れ換えたりしますと、正常に動作しません。

MMカードの主な機能

[プログラム管理]

- ・週間プログラム
- ・年月日指定のプログラム

[演奏パターン]

- ・プログラムの時分秒指定
- ・連続演奏指定
- ・シャッフル演奏指定
- ・間欠演奏指定
- ・ボリュームの設定
- ・禁止曲設定
- ・外部制御出力端子のプログラム
- ・外部通信制御
- ・プログラムごとの音量設定

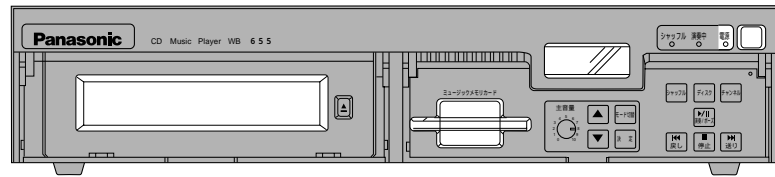
MMカード使用時のお願い

- ・MMカードの内容にあったCDマガジンをご使用ください。内容がなかったり動作しなかったり、誤報の原因となります。
- ・本機の内部時計を必ず合わせてご使用ください。時間があっていない場合、誤報の原因となります。
- ・MMカードは奥までしっかり差し込んでください。差し込みが不十分な場合、動作しなかったり、誤報の原因となります。
- ・MMカードの電池を抜かないでください。書き込んであるプログラムが消えてしまいます。
- ・MMカードに衝撃や静電気を与えないように注意してください。カード内部が破壊され、使用できなくなります。

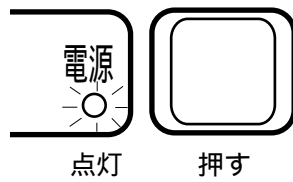
メモ

- ・MMカードについての詳細は、お買い上げの販売店もしくはBGM専門会社にご相談ください。
- ・MMカードを発注する際は、本機がMMカードプログラミングソフト「カードくん2」対象機種であることをMMカード販売店(プログラム書き込み店)にお伝えください。

演奏のしかた

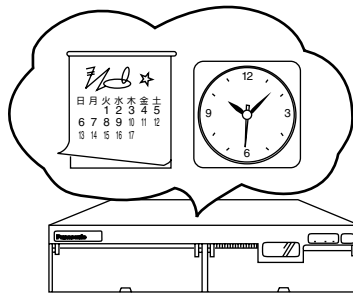


1



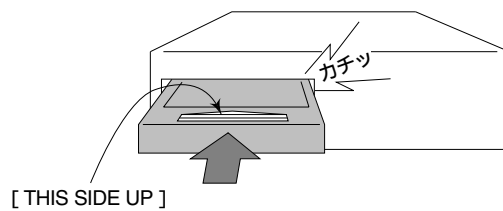
電源を入れます。
電源スイッチは2秒以上押し
てください。電源が入ると電源
表示ランプが点灯します。

2



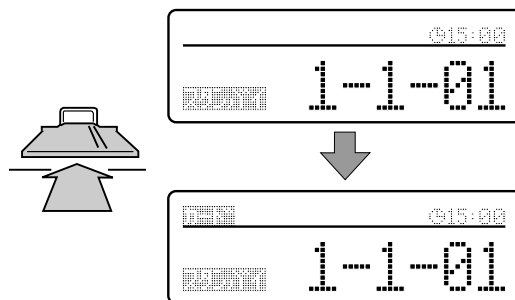
内部時計を合わせます。
(24ページ参照)

3



MMカードと組み合わせのあっ
ているCDマガジンを挿入しま
す。

4



MMカードを挿入します。
プログラムどおりに演奏され
ます。

各種機能について

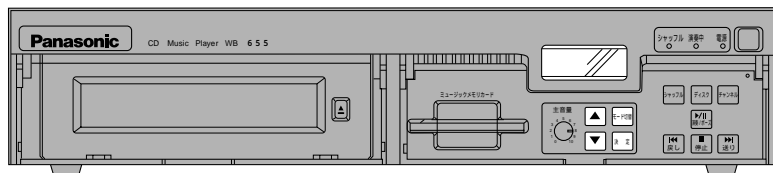
本機は、いろいろな機能を使用したい状況に合わせて、設定や調整することができます。MMカードによる演奏とこの設定により、多彩な動作が可能となります。

設定モード画面を呼び出して設定できる各種機能は以下のとおりです。

[設定モード画面]	[各機能設定画面]	[設定内容]
・ボリューム	ボリューム設定モード	CD、モニタ、外部入力、ミキシングの音量を設定します。 (23ページ参照)
・トキセット	時計セットモード	内部時計を現在時刻に合わせます。 (24ページ参照)
・0秒リセット	0秒リセットモード	内部時計の秒を0秒にリセットします。 (26ページ参照)
・レベル	レベル調整モード	ABCDEの音量レベルを調整します。 (27ページ参照)
・フェーダ	フェーダ設定モード	フェードイン、アウト、ウェイトなどの時間を設定します。 (28ページ参照)
・1時間調整	1時間調整モード	時間を1時間進めたり、遅らせたりします。 (29ページ参照)
・輝度調整	輝度調整モード	表示画面の輝度を調整します。 (30ページ参照)
・メインボリューム	メインボリューム切り換えモード	主音量で調整するボリュームの選択をします。 (31ページ参照)

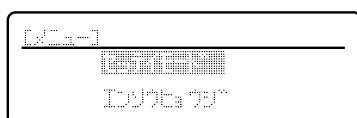
機能設定の基本操作手順

各機能を設定するときは、それぞれの設定画面を呼び出して行います。
各設定画面の呼び出しかたは以下のとおりです。



1

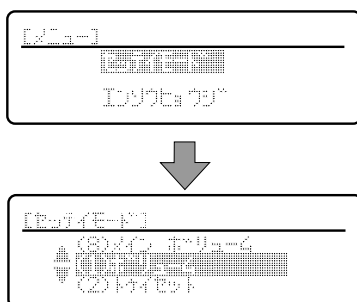
モード切換
押す



メニュー画面を呼び出します。

2

▲ または ▼
押す

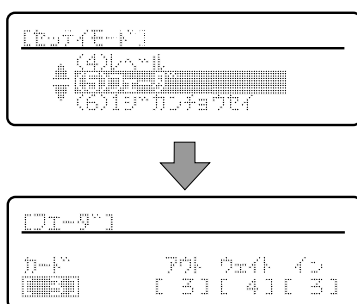


決定
押す

「セッテイモード」を選択し、
設定モード画面を呼び出しま
す。

3

▲ または ▼
押す



決定
押す

設定したい項目を選択し、そ
の設定画面を呼び出します。
左記は「フェーダ」を選択し
た例です。

メモ

本機の停電保証期間は20日間です。それを越える停電が合った場合は設定した内容が消えてしまいます。

(内蔵バックアップ電池が充電されていないと停電保証期間が短くなります。)

設定のしかた

各機能の設定手順は以下のとおりです。この説明は、それぞれの設定画面を呼び出したところから始まります。

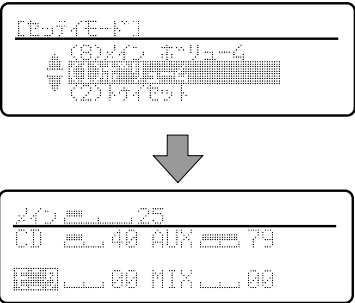
各音量を設定する

CD音量(CD)、外部入力音量(AUX)、ミキシング音量(MIX)、モニタスピーカー(モニタ)音量を設定します。

1

▲ または ▼
押す

決定
押す



「(1)ボリューム」を選択し、ボリューム設定画面を呼び出します。

2

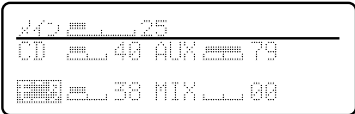
決定
押す



ボリュームを設定したい機器を選択します。
左記は、モニタスピーカーを選択した例です。

3


▲ または ▼
押す



音量を設定します。
他のボリュームを設定するときも手順2,3を繰り返します。

4

モード切換
押す



音量設定が終わったら、演奏表示画面に戻します。

メモ

- ・ミキシング音量については、詳細説明が32ページにありますのでご覧ください。
- ・モニタスピーカーの音量は、演奏中に設定することもできます。(15ページ参照)

設定のしかた

時刻を合わせる

カレンダー付内部時計を合わせます。カード演奏するときには、必ずこの操作を行ってください。

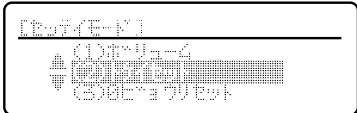
MMカードのプログラムはこの内部時計を基準に演奏します。

ここでは、「1995年8月4日（金） 15時00分」に設定する手順を例に説明します。

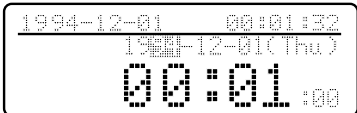
1

▲ または ▼
押す

決定
押す



トケイセット



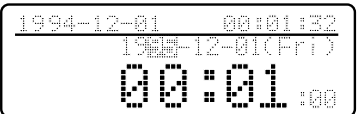
1994-12-01 00:01:32
1994-12-01(Thu)
00:01:00

「(2)トケイセット」を選択し、時計セット画面を呼び出します。西暦の下2桁が反転表示になります。

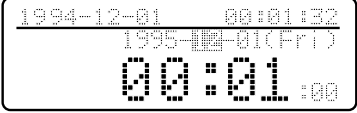
2

▲ または ▼
押す

決定
押す



1994-12-01 00:01:32
1995-12-01(Fri)
00:01:00



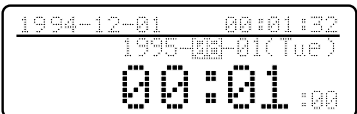
1994-12-01 00:01:32
1995-12-01(Fri)
00:01:00

年数を合わせます。月数に反転表示が移動します。

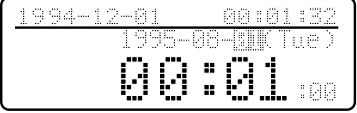
3

▲ または ▼
押す

決定
押す



1994-12-01 00:01:32
1995-08-01(Tue)
00:01:00



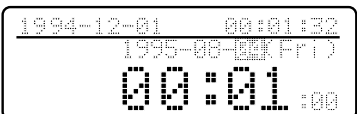
1994-12-01 00:01:32
1995-08-04(Tue)
00:01:00

月数を合わせます。日付に反転表示が移動します。

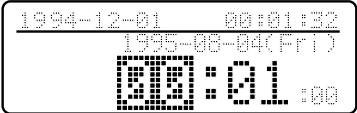
4

▲ または ▼
押す

決定
押す



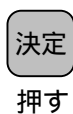
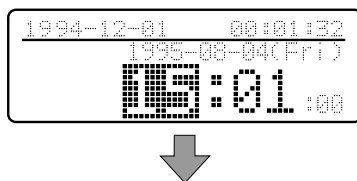
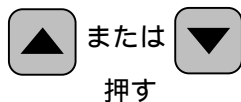
1994-12-01 00:01:32
1995-08-04(Fri)
00:01:00



1994-12-01 00:01:32
1995-08-04(Fri)
15:01:00

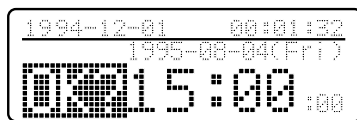
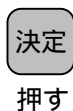
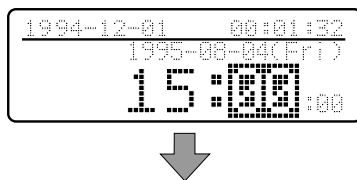
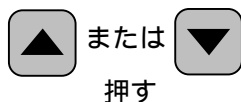
日付を合わせます。日付を変えると曜日も自動的に変わります。時間に反転表示が移動します。

5



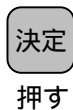
時間を合わせます。時間は24時間単位で表示されます。分に反転表示が移動します。

6



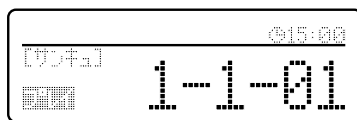
分を合わせます。画面は入力確認の画面になります。

7



合わせた内容が正しいか確認し、電話やテレビの時報に合わせて「決定」キーを押します。

8



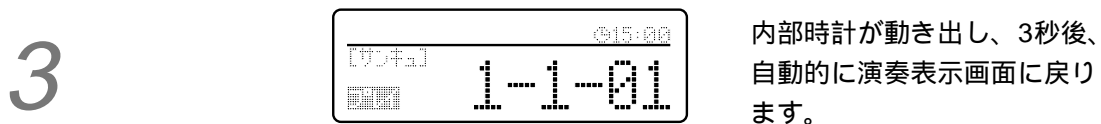
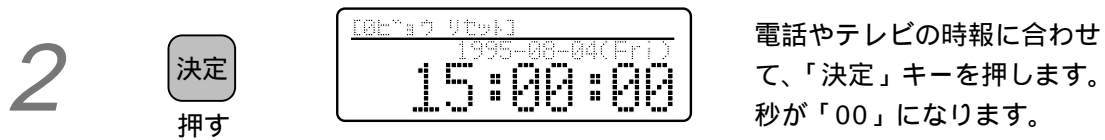
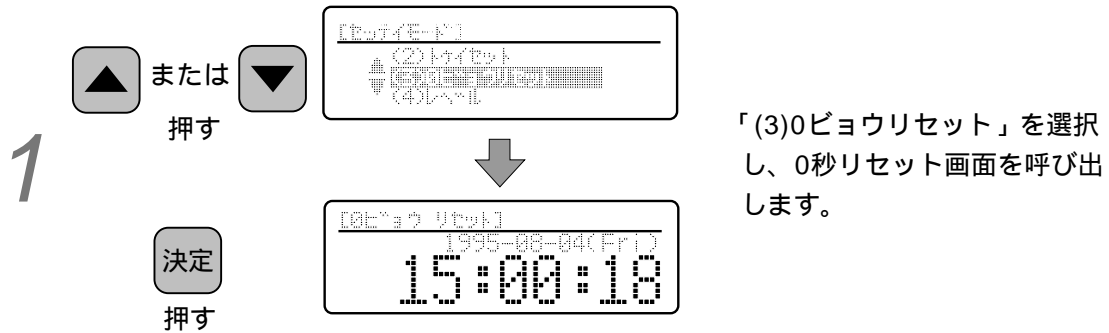
内部時計が動き出し、3秒後、自動的に演奏表示画面に戻ります。

設定の途中で間違いに気づいたときは、「モード切換」キー押し訂正したい項目の設定画面まで戻してください。「モード切換」キーを押すごとに、ひとつ前の設定画面に戻ります。画面上に「トリケシ」と表示されたときに「決定」キーを押すと、時計セット画面に戻ります。

設定のしかた

0秒リセット機能を実行する

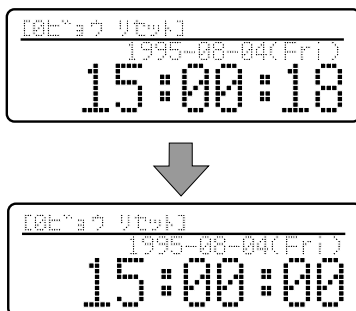
本機の内部時計がずれていたとき、±30秒以内の誤差であれば、この操作で簡単に修正することができます。



メモ

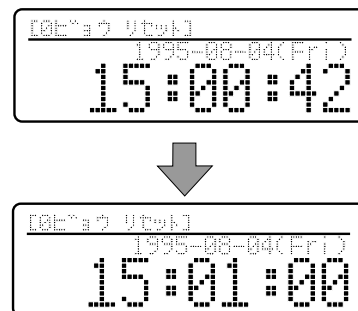
手順2では何秒のときに「決定」キーを押したかによって、以下のような違いがあります。

[0～29秒の間に押した場合]



現在表示している分の00秒に戻ります。

[30～59秒の間に押した場合]



次の分の00秒になります。

音量レベルを調整する

カード演奏は、カードプログラムの中でA～Eの音量を設定して、伝えたいメッセージは大きな音量で、BGMは時間帯にあった音量で放送することができます。

このA～Eを実際にどのくらいの音量で放送するか、現場で音を聞きながら設定します。

BGM 1:PB 動作デモ用パターン										
No.	厳守	開始時刻	終了時刻	ディスク	チャンネル	曲番	続行	シャッフル	音量	優先
5		10:00:00	13:00:00	1	1	...			D	×
6	×	13:00:00	17:00:00	1	2	...			B	×
7	×	17:00:00	20:00:00	1	3	...			C	×
8										

1

▲ または ▼
押す

決定
押す

「(4)レベル」を選択し、レベル調整画面を呼び出します。

2

▶/||
演奏/ポーズ
押す

MMカードを抜いた状態で、モニタボリュームを絞って、プログラムで設定してある曲を手動演奏します。
(10,11ページ参照)

3

決定
押す

▲ または ▼
押す

A～Eのうち、設定したい項目を選択し、音量レベルを調整します。

4

モード切換
何回か押す

音量レベルの設定を終了し、演奏表示画面に戻ります。

設定のしかた

フェーダを設定する

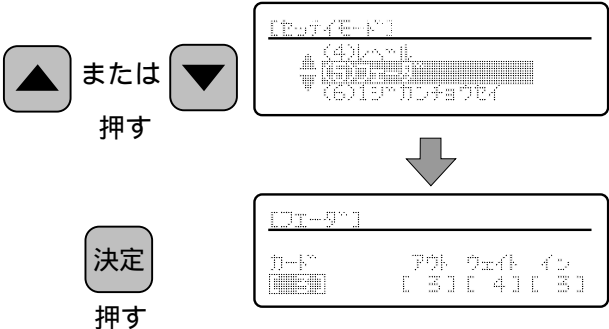
使用状況に合わせ、フェードアウト時間、ウェイト時間、フェードイン時間を設定できます。時間は0～10秒の間で設定ができ、0秒に設定すると徐々に音量が下がったり上がったりすることなく、いきなりプツンと音声がかたまり切替わりします。

フェーダー動作の説明は、29ページをご覧ください。

1

▲ または ▼
押す

決定
押す



「(6)フェーダ」を選択し、フェーダ設定画面を呼び出します。

2


決定
押す



カード、アウト、ウェイト、インの中から設定したい項目を選びます。

3

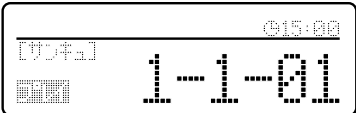
▲ または ▼
押す



希望の時間(秒)を設定します。

4

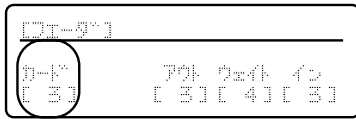
モード切換
何回か押す



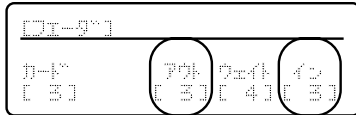
フェーダ設定を終了し、演奏表示画面に戻します。

フェーダー動作について

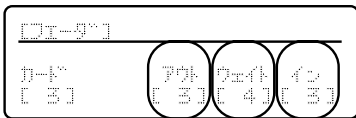
カード演奏時、曲と曲の切り換わりのフェーダー動作



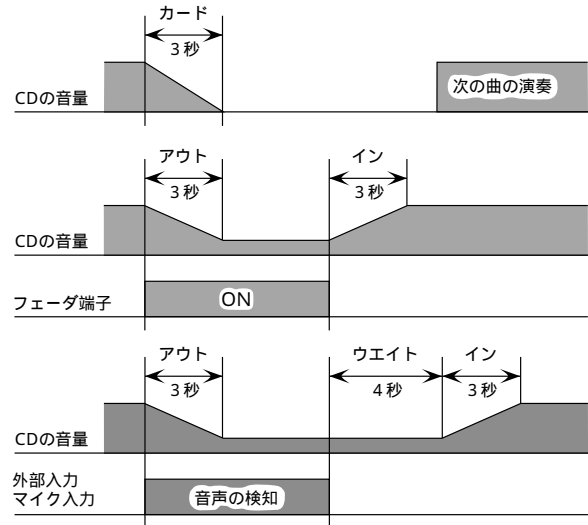
フェーダ入力端子ショート時のフェーダー動作



* プログラムおよびDIPスイッチは外部優先の設定
マイク、外部入力の音声検知時のフェーダー動作

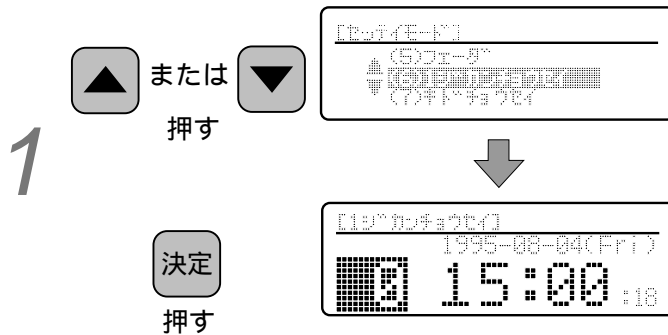


* プログラムおよびDIPスイッチは外部優先の設定

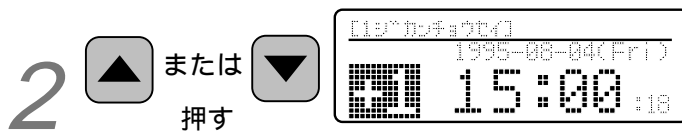


1時間調整機能を実行する

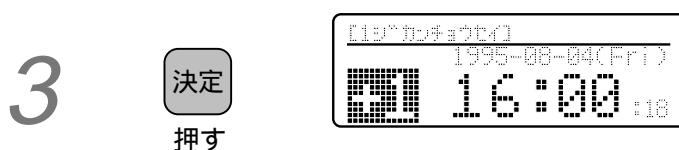
本機の内部時計を、分、秒を変えずに1時間ずらすことができます。



「(6)1ジカンチョウセイ」を選択し、1時間調整画面を呼び出します。



1時間進めるのか、遅らせるのか選択します。
進めるときは+1、遅らせるときは-1にします。



1時間調整を実行します。
実行してから3秒後、自動的に演奏表示画面に戻ります。

設定のしかた

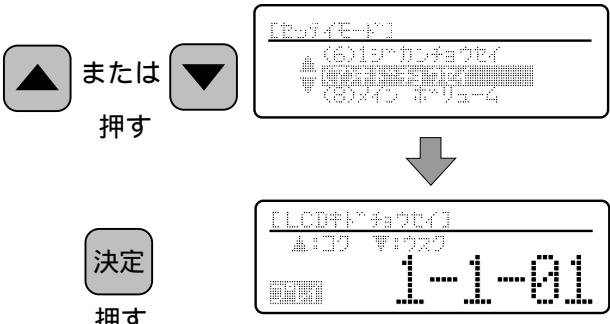
表示画面の輝度を調整する

CDを演奏しているときに表示画面の輝度を調整する手順です。
CDが停止中に輝度調整する場合は、16ページをご覧ください。

1

▲ または ▼
押す

決定
押す

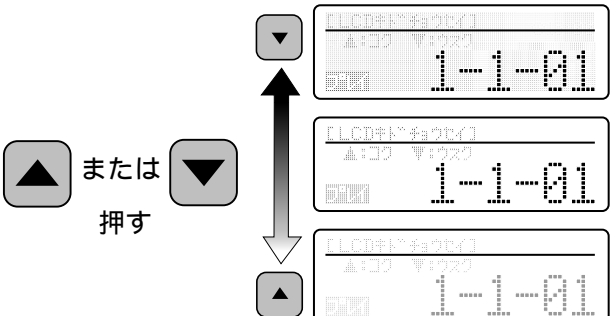


The diagram shows a sequence of two LCD screens. The first screen displays a menu with options (6) through (8). A downward arrow points to the second screen, which shows the brightness adjustment menu with the value '1-1-01'.

「(7)キドチョウセイ」を選択し、
輝度調整設定画面を呼び出し
ます。

2

▲ または ▼
押す

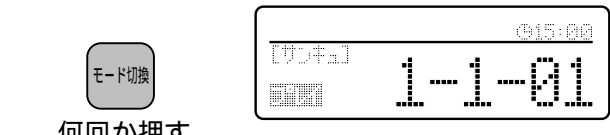


The diagram shows three LCD screens stacked vertically, each displaying the brightness adjustment menu with the value '1-1-01'. A vertical double-headed arrow indicates the adjustment process.

表示画面を見ながら、輝度を
調整します。

3

モード切換
何回か押す

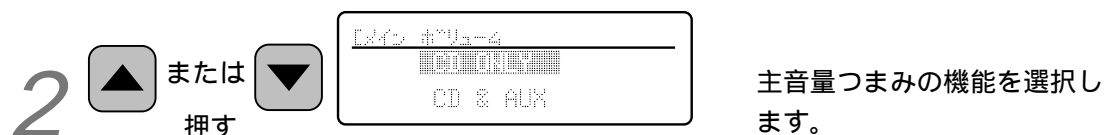
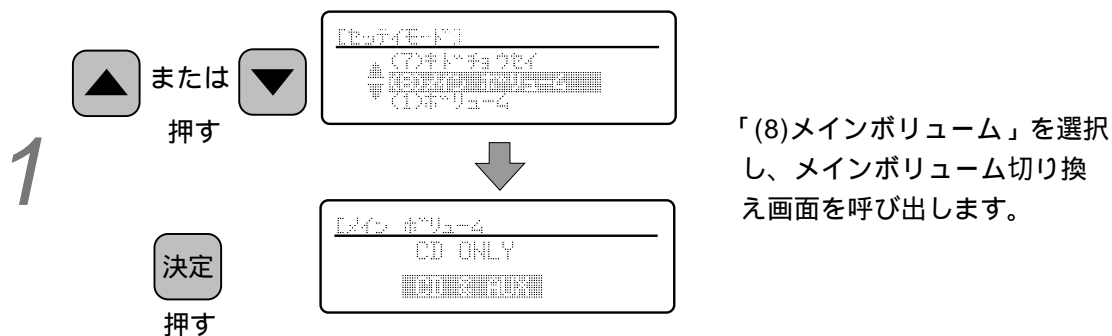


The diagram shows a single LCD screen displaying the playback screen with the time '015:00' and the track information '1-1-01'.

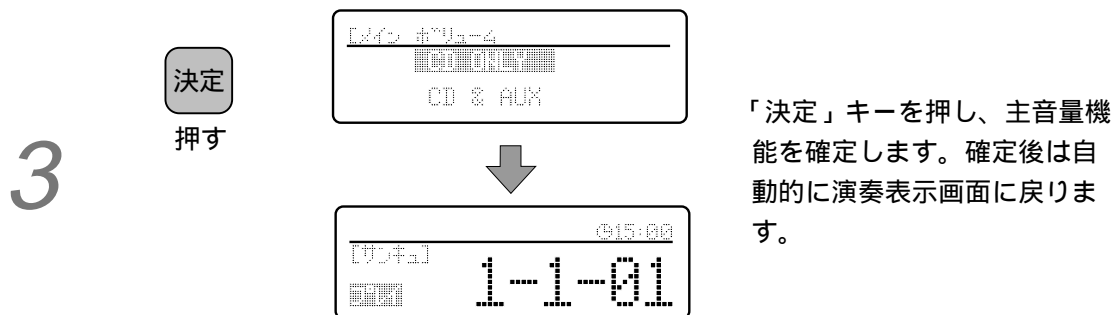
輝度調整を終了し、演奏表示
画面に戻します。

主音量機能を切り換える

工場出荷時の設定では、フロントパネルの主音量つまみは、CDの音量と外部入力音量の2つを同時に調整しています。以下の設定を行うことで、CDのみの音量を変化させ、外部入力の音量は変化しないようにすることができます。



CD ONLY : CDの音量のみ調整
CD & AUX : CDと外部入力の音量を調整



メモ

外部入力端子から音声を入力中に、この主音量機能を切り換えると、切り換えたタイミングでそれらの音量が急に変化し、大きな音が出ることがあります。

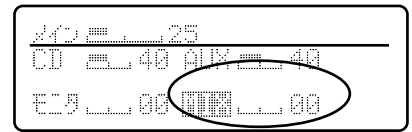
ミキシング音量について

CDの演奏と外部入力の音声の両信号があった場合、本機はその2つをミキシングします。このとき、どちらか一方の音量をボリューム設定画面のMIXで調整することができます。

どちらの音量を調整するかは、DIPスイッチ1の設定(44ページ参照)によります。また、CD音量や外部入力(AUX)音量が最小(0)になっているときはミキシングできません。

ミキシング音量は、以下のように働きます。

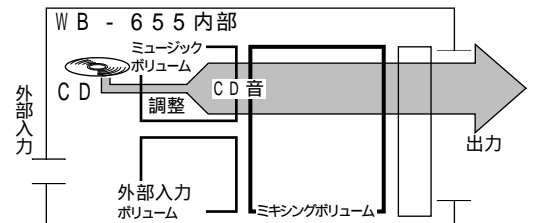
- ・ 値を「0」にすると最小となり、音声をカットします。
- ・ 値を「79」にすると最大となり、音声をそのまま出力します。



音量の出力イメージ

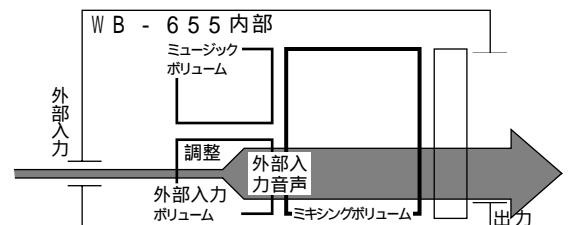
(1)CDだけ演奏している場合

DIPスイッチに関係なく、CDの演奏はCD音量で設定された音量で出力されます。



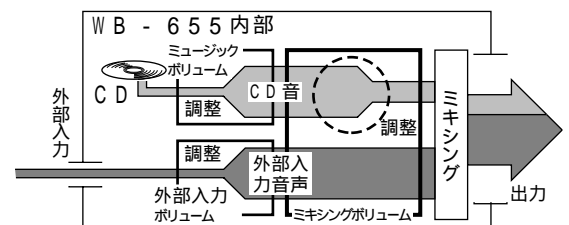
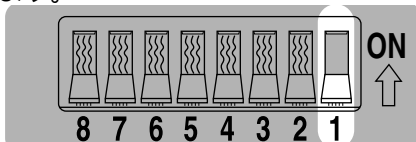
(2)外部入力だけ入力している場合

DIPスイッチに関係なく、外部入力の信号は外部入力(AUX)音量で設定された音量で出力されます。



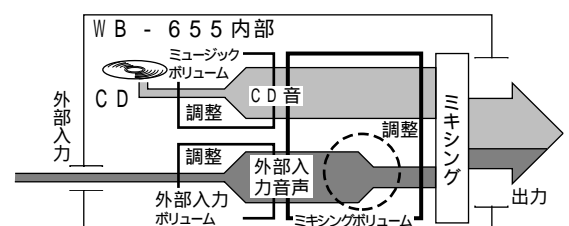
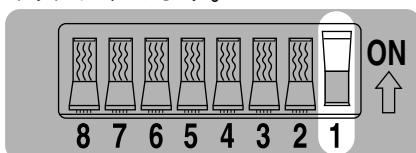
(3)DIPスイッチ1の設定がOFFでCD演奏と外部入力の両方を入力している場合

CDの音をCD音量で設定したあとに、ミキシング(MIX)音量で再度設定し、外部入力信号とミキシングします。



(4)DIPスイッチ1の設定がONでCD演奏と外部入力の両方を入力している場合

外部入力の信号を外部入力(AUX)音量で設定したあとに、ミキシング(MIX)音量で再度設定し、CDの音とミキシングします。



各種機能の工場出荷時状態(初期値)

本機の工場出荷時の設定は以下のようになっています。

この設定値を変更した場合は、設定値を忘れないように記録を残しておくと便利です。51ページに下記書式と同じ設定シートがありますので、ご活用ください。

ボリューム設定モード

メイン	0		
CD	40	AUX	79
FM	0	MIX	0

フェーダ設定モード

D1-D1			
カーブ	70% フェード イン		
3	3	4	3

レベル調整モード

D1-D1					5-0-21
A	B	C	D	E	
+6	+3	0	-3	-6	

メインボリューム切換えモード

D1-D1	
<input type="checkbox"/>	CD ONLY
<input checked="" type="checkbox"/>	CD & AUX

演奏表示選択モード

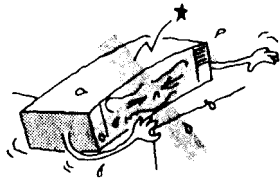
1-1-01	15:00	15:00	1-0-01
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

設置上のお願い

- ・工事は必ず販売店に依頼してください。
- ・工事の際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを「切」にただけではタイマー部分があるため、通電しています。
- ・設置の前に、「安全上のご注意」と以下のことをよく読み、お守りください。

振動のない水平な場所へ

必ず水平で振動のない安定した場所に設置してください。傾いたり、不安定な場所でのご使用は、故障の原因となります。



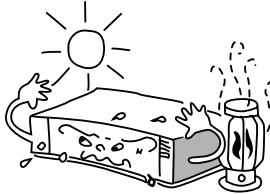
アンプの上には置かない

アンプから発生する熱が、本機に悪影響をおよぼすことがあります。



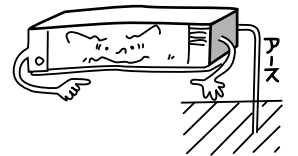
次のような場所には設置しない

- ・直射日光の当たるところ
- ・ストーブなどの暖房機の近く
- ・調理台の近くで、油煙や湯気の当たるところ
- ・湿気、ホコリの多いところ



アースについて

- ・事故防止のため、必ずアース端子から大地にアースを取ってください。
- ・ガス管には危険ですから絶対に接続しないでください。
- ・アースをしないと発振したり、故障の原因になることがあります。



ラジオ、テレビなどの近くに置かない

- ・電波障害により、音質に影響を受けることがあります。
- ・本機は不要輻射に関して「商工業地域でのみ使用されるべき装置」として設計されていますので、ラジオやテレビ、ワイヤレス受信機の近くで使用すると、これらの機器に妨害を与えることがあります。

空調の出口近くに置かない

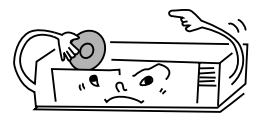
加湿器などのご使用はできるだけ避けてください。ピックアップレンズへのカルキの付着による音とび、誤動作の原因となります。

カード演奏のときは

設置後、年月日、時刻設定を必ず行ってください。

輸送時は

- 必ずディスクカートリッジを本体より取り外してください。ディスクを傷つけたり、故障の原因となります。

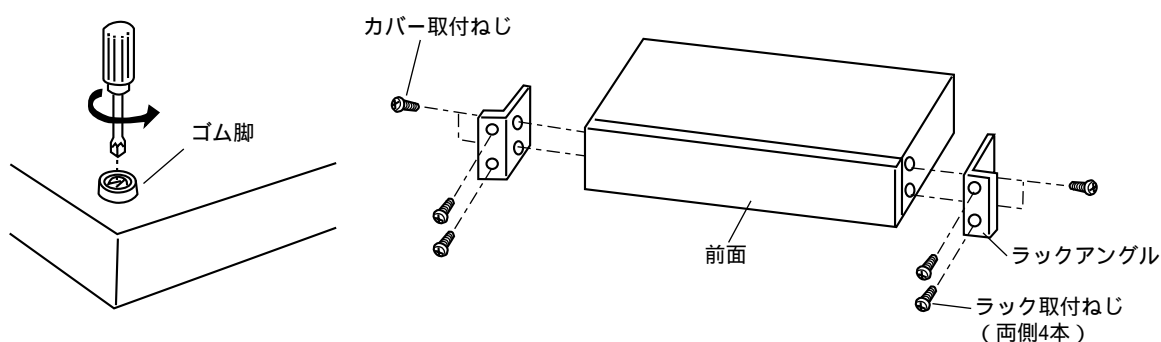


電源は、大電力を要するものと別系統に

- コピー機、照明、電動シャッター、自動販売機など大電力を使用する機器とは、電源を別系統にしてください。
- 電源ノイズ、電圧降下により、本機が誤動作する場合があります。

ラックへの取り付けかた

付属のラックアングル、ラック取り付けねじを使って、ラックに取り付けます。



1 本機のゴム足(4個)を外します。

2 本機側面のねじを外し、外したねじでラックアングルを取り付けます。

3 ラックに取り付け、ラック取り付けねじで固定します。(4箇所)

メモ

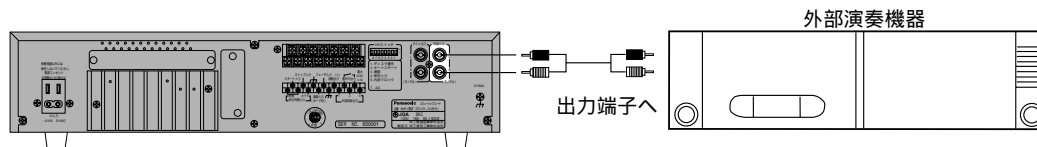
ラックへの取り付け時は、上下の機器の発熱量に注意し、通風や換気をよくしてください。
本機の使用温度範囲は、+5° C ~ +40° Cです。

接続のしかた

外部演奏機器の接続

カセットデッキやラジオチューナーなどの音声を本機に入力する場合の接続です。

外部演奏機器がモノラルの場合は、本機の外部入力端子のR側に接続してください。



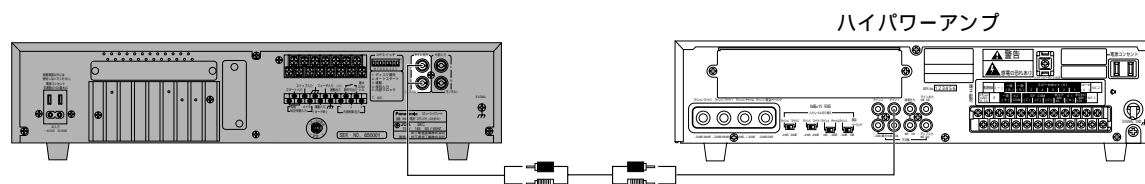
メモ

外部入力端子のスルー機能について

電源スイッチが切りの状態でも外部入力に接続された音声はスルーしてライン出力から音声出力されるようになっています。これはCDミュージックプレーヤを使用しない場合でも配線を変更することなく業務放送がつづけられるようにするためです。外部入力につながっている音声を切る場合はその音声ソースを絶ってください。外部入力音声の音量は電源スイッチが入り時の設定（主音量機能設定、外部入力音量、ミキシング音量）通りとなります。なお電源プラグを抜いた場合はこの機能は働きません。

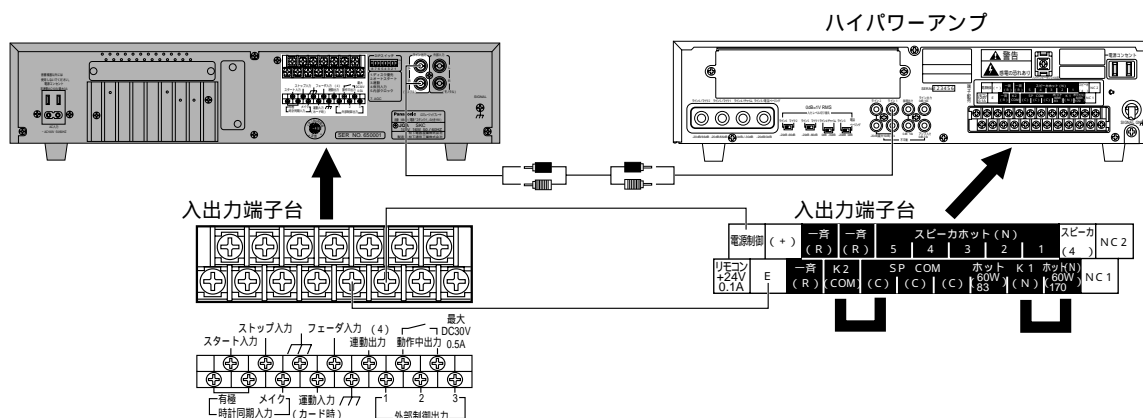
外部アンプの接続

- ・本機音声を外部アンプを通じて放送する場合の接続です。
- ・外部アンプのイラストは、ハイパワーアンプ WA-H30シリーズを使用しています。



外部アンプを制御する場合の接続(カード演奏時のみ有効)

本機の外部制御出力端子と外部アンプの制御端子を接続することにより、本機のカードプログラムに従った演奏を外部アンプを通じて放送することができます。(本機をプログラムコントローラとして使用できます。)

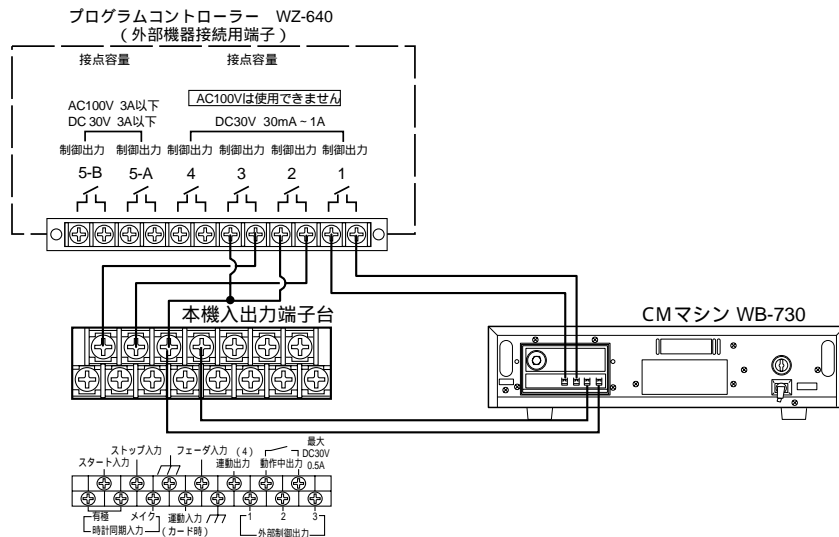


メモ

- ・本機の外部制御出力端子は、カードプログラムに従ってそれぞれ独立して出力します。プログラムステップは、何時何分何秒～何時何分何秒 という設定ですので、保持出力とパルス出力の両方ができます。また、連続出力端子もカード演奏時に限り、外部制御出力端子として働きます。
- ・プログラムコントローラとしての使用は、1年間のみ可能です。これは、MMカードが1年間たつと週間プログラムのみ機能するようになっているためです。

プログラムコントローラの接続

本機およびCMマシンの演奏を時間管理する場合
プログラムコントローラのイラストは、WZ-640を使用しています。



メモ

プログラムコントローラからは、無電圧メイク接点もしくはトランジスタのオープンコレクタによる出力による制御信号が、本機のスタート、ストップ入力端子に0.5秒以上出力されるようにしてください。トランジスタのオープンコレクタ出力タイプのコントローラを使用する場合は、極性がありますので間違えないように接続してください。

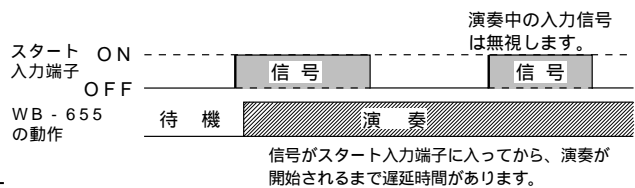
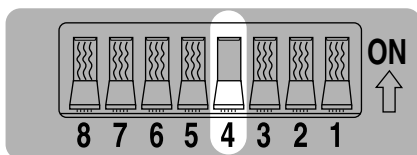
本機のスタート入力端子は、DIPスイッチの設定により、パルス信号、保持信号のどちらでも動作します。DIPスイッチの設定については、44ページをご覧ください。

本機のスタート、ストップ入力端子に制御信号が入力された場合の動作イメージは以下のとおりです。

[スタート入力端子]

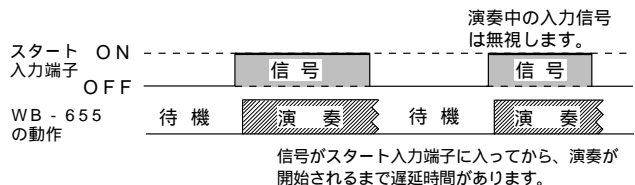
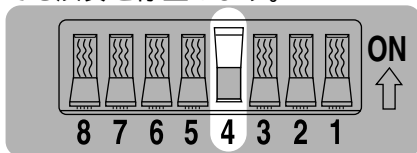
①DIPスイッチの保持入力が「OFF」の場合の動作

スタート入力端子に制御信号が入ると、停止操作を行うまでCDの演奏を続けます。



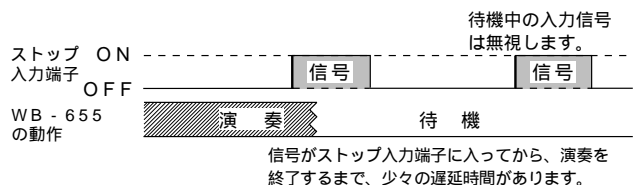
②DIPスイッチの保持入力が「ON」の場合の動作

スタート入力端子に制御信号が入っている間だけCDの演奏を続けます。信号がなくなると、曲の途中で演奏を停止します。



[ストップ入力端子]

ストップ入力端子に制御信号が入ると、CDの演奏を停止させ、次の曲で待機します。

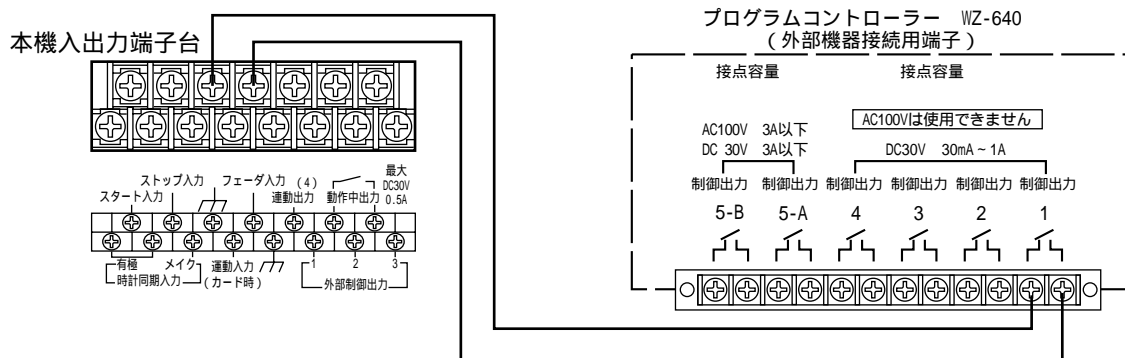


接続のしかた

フェーダ入力端子との接続

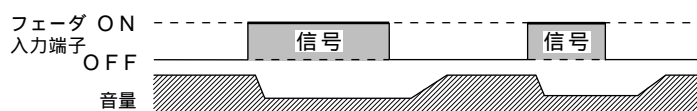
CDの音や外部入力の信号にフェーダをかける接続です。フェーダ時間の設定は、28ページをご覧ください。CDと外部入力のどちらにフェーダをかけるかは、手動演奏の場合はDIPスイッチ1の設定で、カード演奏ではプログラムの設定になります。

プログラムコントローラのイラストは、WZ-640を使用しています。



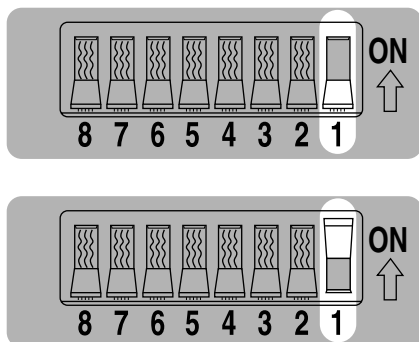
メモ

フェーダ入力端子に制御信号が入力された場合の動作イメージは以下のとおりです。



フェーダ入力端子に信号が入ると、音量を小さくしていきます。信号がなくなると、もとの音量に戻していきます。

DIPスイッチの設定によるフェーダ動作の違いは以下のとおりです。



CDの音量を小さくします。

外部入力の音量を小さくします。

フェーダ入力端子とライン出力の音量について

背面、入出力端子台のフェーダ入力端子はグランド端子と短絡することで、演奏中の曲もしくは外部入力の音量を、ミキシングボリュームで設定した音量までフェードアウトさせる制御信号入力端子です。どの音量をさげるかは、優先機能の設定により異なります。

条件		ライン出力音量	
DIP-SW1/カード優先 ^{*1}	ミキシングボリューム	ディスク音量	外部入力
OFF / × (外部優先)	0	カット	そのまま出力
	1~79 ^{*2}	設定音量に絞って出力	そのまま出力
ON / (ディスク優先)	0	そのまま出力	カット
	1~79 ^{*2}	そのまま出力	設定音量に絞って出力

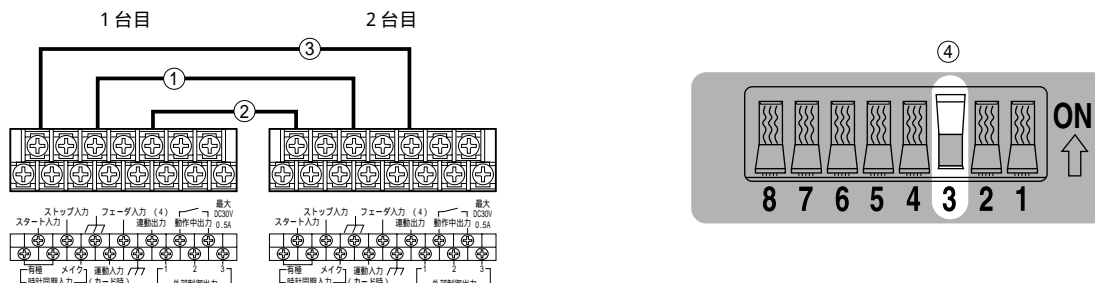
1：手動演奏時はDIP-SW1の状態、カード演奏時はプログラムの優先項目(×/)で外部優先・ディスク優先が決定されます。

2：ミキシングボリュームの値が79(最大値)の時、音量は上がりません。

本機を複数台使用するときの接続（連続演奏）

手動演奏の場合

本機を2台、3台、4台と接続し、長時間の連続演奏をするときの接続です。



- ①それぞれのグランド端子を接続します。
- ②1台目の連動出力端子を2台目のスタート入力端子に接続します。
- ③2台目の連動出力端子を1台目のスタート入力端子に接続します。
- ④DIPスイッチの「3」を2台とも「ON」にします。

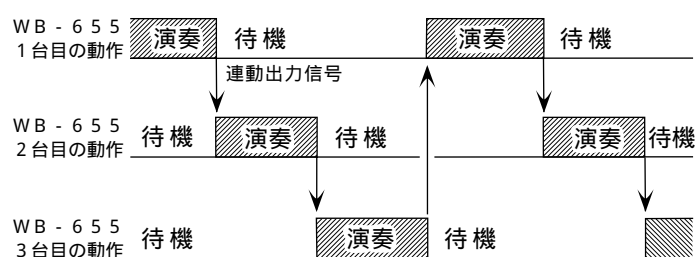
上記の例は2台接続時のものですが、3台、4台接続する場合も同様です。

連動出力端子を次のスタート入力端子に接続し、最後の連動出力端子を1台目のスタート入力端子に接続し、全てのグランド端子を接続してください。

メモ

[3台接続した場合の動作イメージ]

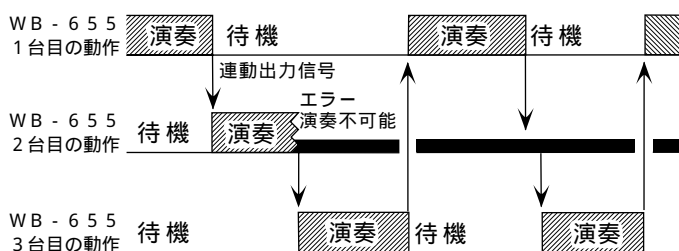
- ・1台目の演奏が終わると2台目の演奏を自動的に始めます。
- ・2台目の演奏が終わると3台目の演奏を自動的に始めます。
- ・3台目の演奏が終わると1台目の演奏を自動的に始めます。



[エラー発生時の動作イメージ]

2台目の機器に以下のようなことが発生し、演奏不可能となった場合は右のように動作します。

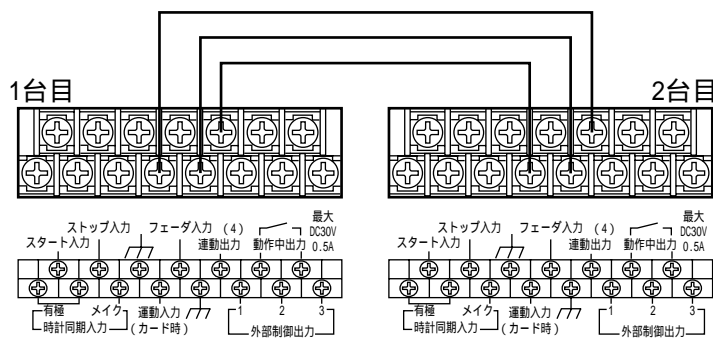
- ・CDマガジン内のすべての曲の演奏が終了したとき。
- ・演奏エラー発生で停止したとき。
- ・スタート入力信号に制御信号が入力された時点で、CDマガジンが挿入されていないか、エラーなどで演奏不可能なとき。



接続のしかた

カード演奏の場合

本機を2台接続し、長時間演奏するための接続です。カード演奏の場合は、2台までしか接続できません。カードプログラムに従い、2台のCDを演奏していきます。

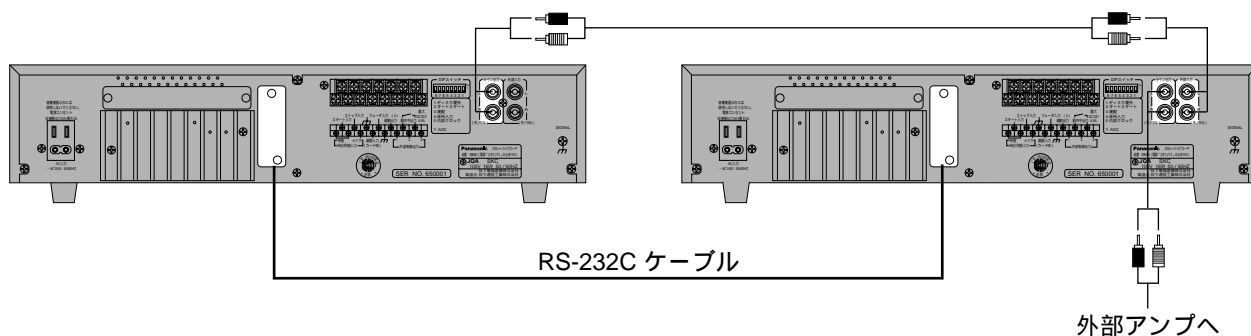


RS-232Cによる接続

別売品のRS-232C通信インターフェイス WB-Z12を本機に取り付けることにより、1枚のMMカードで2台のCDミュージックプレーヤ(本機)を制御することができます。

1台をBGM機として、もう1台をCMマシンとして使用すれば、BGM放送から定刻放送までのすべてを自動演奏してくれます。

WB-Z12の取り付けは、その取扱説明書をご覧ください。

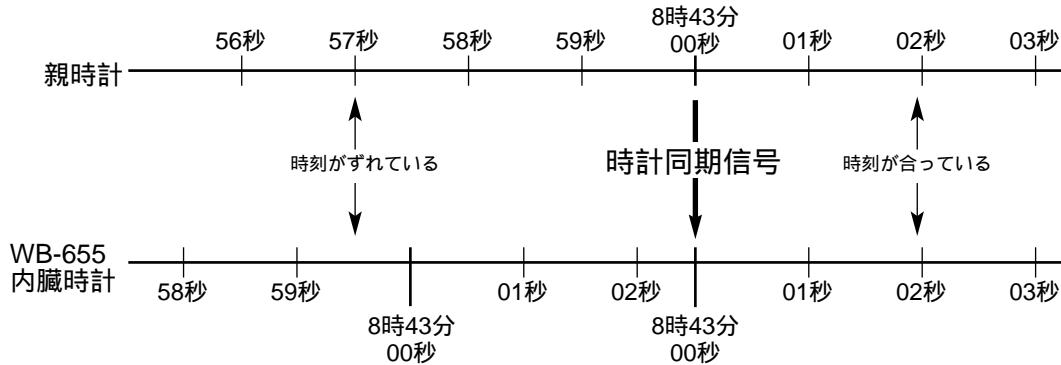


メモ

受け側CDミュージックプレーヤのミキシングボリューム設定で、BGMの音量を下げてもメッセージを流すことも可能です。

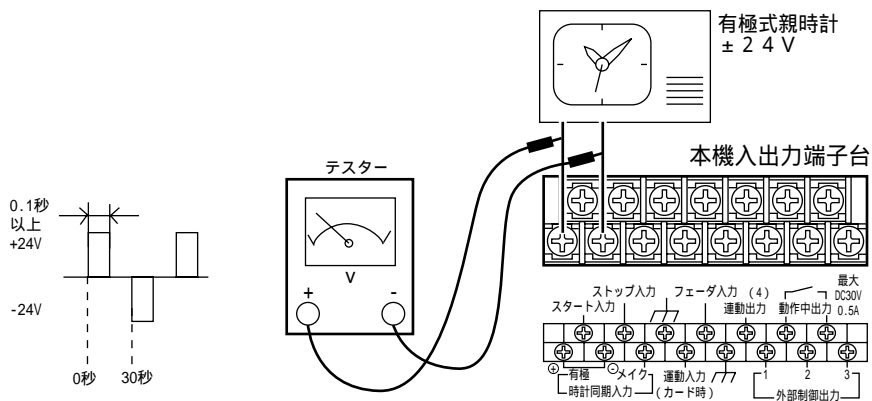
時計同期入力端子の接続

本機は内部時計で動いていますが、この時計を外部の時計と同期をとることで時間を合わせることができます。接続できる外部時計は、有極式親時計と無電圧メイク接点を出力する基準時計の2種類です。(どちらか一方のみ使用してください。)また、プログラムコントローラを使って同期をとることもできます。時計同期入力端子に信号が入った場合の動作イメージは以下のとおりです。



有極式親時計の接続(±24V,有極30秒パルス式)

テスターをDC250V以上のレンジにセットし、親時計の2線にテスター棒を当て、毎分0秒のときにメーターが+側(+24V)に振れる方を「有極+」の端子に接続してください。

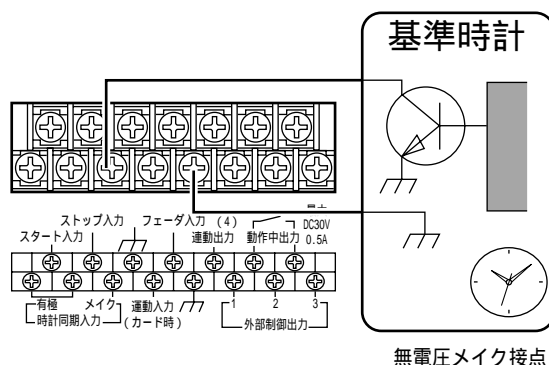


メモ

同期が30秒程ずれる場合は、極性が誤っています。有極端子に接続した配線の“+”と“-”を逆に接続してください。

接続のしかた

無電圧メイク接点を出力する基準時計の接続



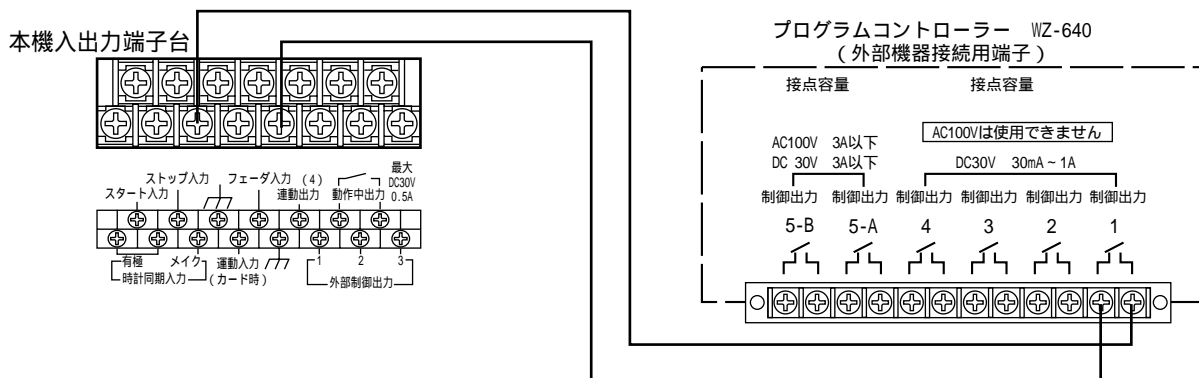
無電圧メイク接点

メモ

- ・本機の時計同期入力端子の「メイク」は、無電圧メイク接点に適合しています。ショートタイプのスイッチやタイマ等のリレー接点には極性はありませんが、トランジスタのオープンコレクタ出力タイプのタイマやコントローラを使用する場合は、極性がありますので間違えないように接続してください。逆接続では動作しません。
- ・時計同期入力端子の「メイク」に電圧電流を加えないようにしてください。

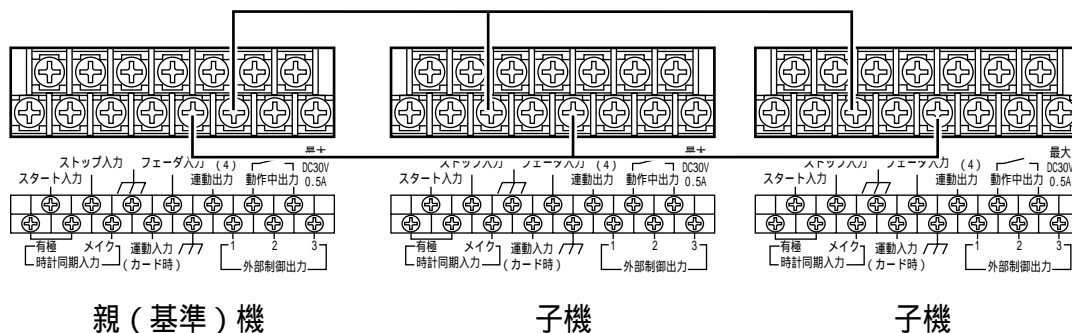
プログラムコントローラを使用する場合の接続

プログラムコントローラの制御出力で補正するように、プログラムコントローラを設定してください。



本機を複数台使用する場合の接続

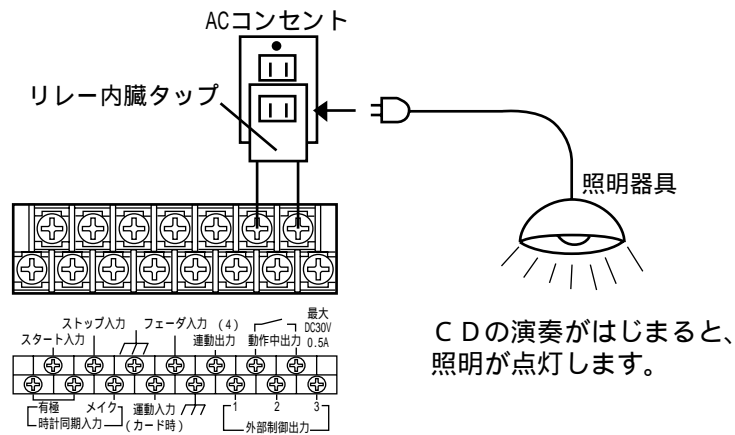
本機を複数台で使用する場合、そのうちの1台を親時計として同期信号を出力し、他の機器と同期をとることができます。



動作中出力端子の接続

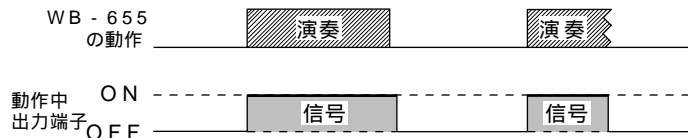
本機が演奏中のときに保持信号を出力する端子です。リレー接点なので極性はありません。この端子に使用されているリレーの最大定格は、DC30 V/0.5 Aです。

接続例を以下に示します。



メモ

動作中出力端子の動作イメージは以下のとおりです。



システムアースの接続

本機を複数台接続して使用したり、アンプやプログラムコントローラなどと組み合わせシステムとして使用する場合は、各機器間の電位差をなくすためシステムアースを接続します。



本機のシステムアース端子と他のアース端子を接続します。線はなるべく太く、短くなるようにしてください。上記は、本機とハイパワーアンプ WA-H30を接続した例です。



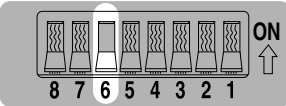
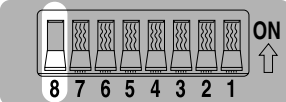
他の機器のシステムアース端子は、多くの場合「アース」、「GND」、「SIGNAL GND」、「 \uparrow 」と表示されています。詳細は、各機器の取扱説明書をご覧ください。

DIPスイッチの設定

設定のしかた

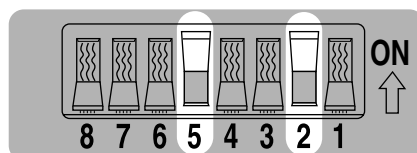
本機の使用状態に合わせ、DIPスイッチを以下のように設定します。

DIPスイッチ機能の詳細説明を45ページ以降に記載しています。そちらもご覧ください。

DIPスイッチ		ON (上側 )	OFF (下側 )
番号	機能		
1	ディスク優先	CD演奏と外部入力 of 両信号のうち、CDの音を優先して出力します。	CD演奏と外部入力 of 両信号のうち、外部入力の音を優先して出力します。
2	オートスタート	電源を入れたりマガジンを挿入すると、自動的に演奏を開始します。	自動的に演奏を開始しません。
3	連動	本機は複数台で連動動作します。	連動動作しません。
4	保持入力	スタート入力端子に信号が来ている間だけ、CDを演奏します。	スタート入力端子に信号を入力するとCDの演奏を開始します。信号がなくなっても演奏を続けます。
5	内部クロック	常に水晶発振で内部時計を歩進します。	通電時は電源同期で、停電時は水晶発振で内部時計を歩進します。
6		使用しませんので、常にOFF (下側) にしておいてください。ON (上側) にしてありますと正常な動作をしなくなることがあります。	
7	A G C	CD間、CD内の録音レベル格差を軽減して演奏します。	CD音源特有のダイナミックレンジの広い演奏をします。
8		使用しませんので、常にOFF (下側) にしておいてください。ON (上側) にしてありますと正常な動作をしなくなることがあります。	

[設定例]

CDマガジンを挿入したら自動的に演奏を開始させ、内部時計は常に水晶により歩進させたいときは、2番と5番を「ON(上側)」にします。

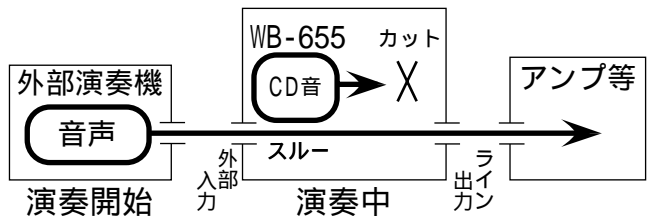
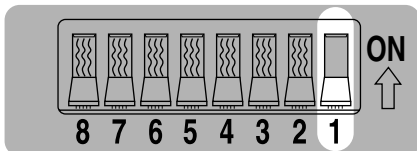


DIPスイッチ機能の詳細説明

DIPスイッチ1(ディスク優先：手動演奏時のみ有効)

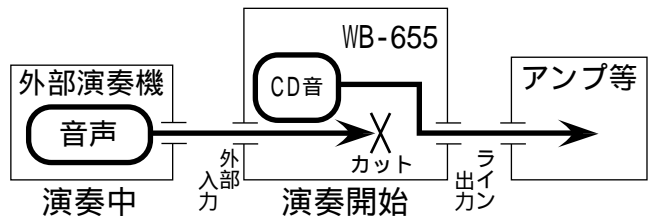
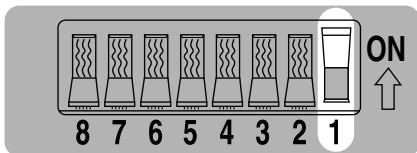
[OFF(下側)のとき]

CDを演奏中に外部入力端子に信号が入力されると、CDの音をカットして外部からの信号を出力します。ミキシング音量の設定位置が1～79の場合は、CDの音を小さくして外部入力の音声にミキシングします。



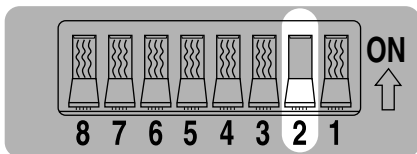
[ON(上側)のとき]

外部入力端子から信号を入力中にCDの演奏が始まると、外部入力の信号をカットしてCDの音を出力します。ミキシング音量の設定位置が1～79の場合は、外部入力の信号を小さくしてCDの音にミキシングします。



DIPスイッチ2(オートスタート：手動演奏時のみ有効)

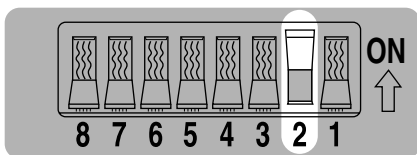
[OFF(下側)のとき]



自動での演奏開始はしません。

CDの演奏を開始するには、「演奏」キーを押すか、スタート入力端子に信号を入力します。

[ON(上側)のとき]

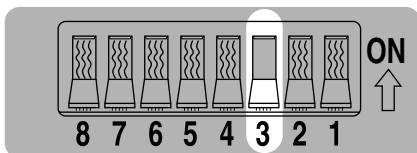


次の条件で自動的にCDの演奏を開始します。

- ・電源が入っているときにCDマガジンを挿入したとき
- ・CDマガジンを挿入した状態で電源を入れたとき

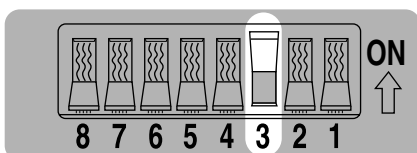
DIPスイッチ3(連動)

[OFF(下側)のとき]



連動動作はしません。

[ON(上側)のとき]



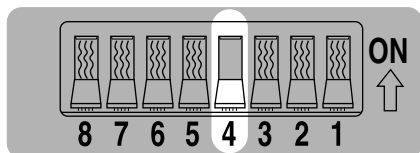
本機を複数台接続したときに連動動作します。

1台目の全ての曲を演奏し終わったあと自動的に停止し、同時に2台目の演奏を開始させるための信号を送ります。カード演奏時は、カード連動モードになります。

DIPスイッチの設定

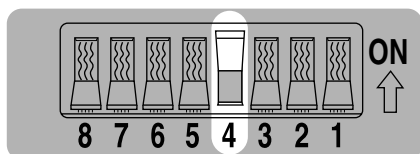
DIPスイッチ4(保持入力：手動演奏時のみ有効)

[OFF(下側)のとき]



プログラムコントローラなどからスタート入力端子に入る信号がパルス信号の場合です。

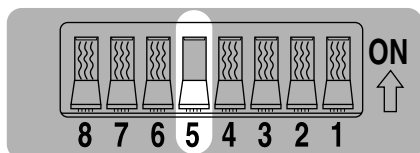
[ON(上側)のとき]



プログラムコントローラなどからスタート入力端子に入る信号が保持信号の場合です。

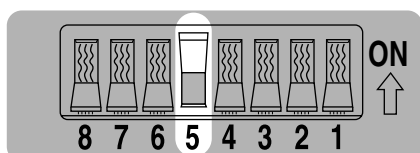
DIPスイッチ5(内部クロック)

[OFF(下側)のとき]



内部時計の歩進を、通電時には電源同期で、停電時には水晶同期で行います。

[ON(上側)のとき]



内部時計の歩進を、常に水晶同期で行います。

メモ

電源同期と水晶同期の特長は以下のとおりです。使用環境に合わせてお選びください。

電源同期：時計の1秒は、コンセントから取れるAC100Vの周波数(50/60 Hz)の波を数えて決めます。

電源事情が悪いところや自家発電装置を使用しているところでは使用できません。

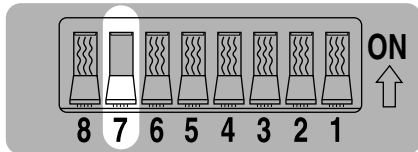
また、無停電電源装置が作動しているときは正確に歩進できません。

水晶同期：時計の1秒は、内蔵している水晶の発振を数えて決めます。電源事情が悪いところや自家発電装置を使用しているところなどに向いています。

水晶発振は、温度の変化により周波数がずれてきます。また、そのために生じる誤差が累積していきます。

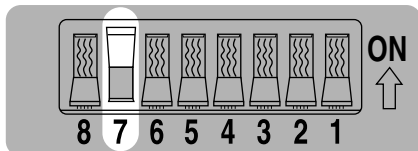
DIPスイッチ7(AGC)

[OFF(下側)のとき]



CD音源特有のダイナミックレンジの広い演奏をします。

[ON(上側)のとき]



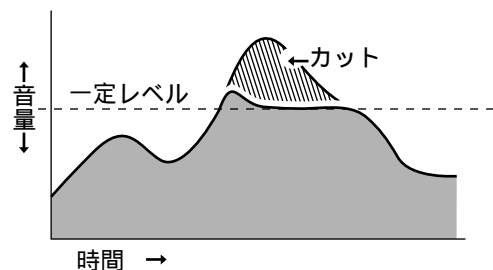
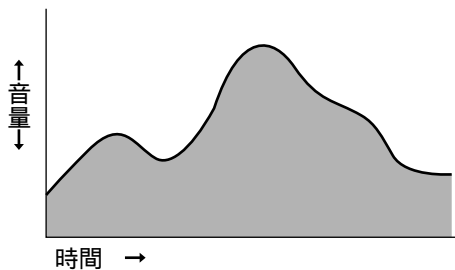
AGC機能を使用し、CD間、CD内の録音レベルを平準化した演奏をします。

メモ

AGC機能について

CDプレーヤーである本機は、CD音源特有の録音時の音声や迫力をそのまま活かした、ダイナミックレンジの広い演奏をします。しかし、CDの音をそのまま出力しますので、演奏するCDが変わるたびにCDごとの録音レベルのばらつきが影響し、不都合が出てくる場合があります。

AGC機能を使うと、下図のように大きな音量を一定のレベルでカットし、CD間、CD内の録音レベル格差を平準化します。



故障と思われましたら

次の手順で調べてみてください

- ①本機のリアパネルにあるDIPスイッチの6番、8番が下側(OFF)になっているか確認してください。
- ②表示画面にエラーコードが表示されていた場合は、下記のエラーコード表を見て対処してください。
- ③トラブルの対処法(49ページ)を確認してみてください。
- ④それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

エラーコード表

エラーコード	エラー内容	エラー解除方法	
E r r 1 0	バックアップエラーです。	時計や、その他の各種設定をもう一度正しく設定しなおしてください。	
E r r 2 0	「カードくん1」で作成したカードです。	正しいカードに交換してください。	
E r r 2 1 ~ 2 6	カードが違います。		
E r r 3 0	マガジン内に演奏できるディスクがありません。	ディスク交換をしてください。	
E r r 3 1	ディスクイニシャライズができない。	演奏キーを押すとそのディスクは無しとして次のディスクのイニシャライズに移ります。	
E r r 3 2	演奏できない種類のディスクが入っています。		
E r r 4 0	停止からの演奏ができない。	手動演奏時は演奏キーを押します。カード演奏時は次のステップの時間がくると解除します。何度も起こる場合はディスクを替えてください。	
E r r 4 1 ~ 4 2	演奏中に演奏ができなくなった。		
E r r 5 0	BGMの指定曲がありません。	次のステップの時間が来ると、解除します。	
E r r 5 1	CMの指定曲がありません。		
E r r 5 2	BGM・CMの指定曲がありません。		
E r r 6 0 ~ 6 9	5ディスクチェンジャーメカのエラーです。	リセットスイッチを押してください。エラーが解除されなかったり、何度も起こる場合は修理が必要です。	
通信制御画面時	× × × × × ×	通信制御のプログラムがありません。	正しくプログラムをしてください。
	セツソク	相手機器との通信ができません。	ケーブルの接続を確認してください。
	フレヤ	相手機器を制御できません。	通信可能な機種を接続してください。

トラブルの対処法

症状	チェック項目	処置
電源が入らない	電源コードが抜けていませんか？	電源コードを接続する。
スピーカから音が出ない	スピーカコードが外れていませんか？	正しく接続する。
	ラインコードが外れていませんか？	正しく接続する。
	外部アンプを使用しているとき、アンプの操作を間違えていませんか？	アンプを正しく操作する。
	フェーダ入力端子を使用しているとき、信号が送られたままになっていませんか？	フェーダ入力信号を正しく制御する。
シャッフル再生しない	シャッフルランプは点灯していますか？	シャッフルキーを押す。
	カードに正しくプログラムしてありますか？	正しくプログラムする。
	そのディスクには曲番がありますか？	正しい種類のディスクと入れ換える。
連動動作しない	連動出力端子コードが外れていませんか？	正しく接続する。
	リアパネルのDIPスイッチが正しく設定されていますか？	正しく設定する。
雑音が出る音が歪む	接続が間違っていないですか？	正しく接続する。
	テレビ等からノイズが出ていませんか？	ノイズの発声源を離す。
カード演奏しない プログラム通り演奏しない	カードがきちんと差し込まれていますか？	カードをしっかりと入れる。
	CDマガジンとカードの内容が合っていますか？	カードに合ったCDマガジンを入れる。
	本機の内部時計が合っていますか？	時計合わせをする。
	CDマガジンがきちんと入っていますか？	CDマガジンをしっかりと入れる。
手動演奏できない	カードが差し込まれていませんか？	カードを抜く。
	CDマガジンがきちんと入っていますか？	CDマガジンをしっかりと入れる。
画面表示しない	画面の輝度調整がされていますか？	正しく調整する。(16ページ参照)

リセットスイッチについて

動作暴走等のトラブルが発生したときに、本機の動作をリセットするスイッチです。

このスイッチを押すと、本機を再起動（一度電源を切り、再度電源を入れる動作）します。

ラックに設置しているときにトラブルが発生し、電源が切れない場合は、このスイッチを押してください。

定格・付属品

定格

電 源 : AC100 V 50/60 Hz
消 費 電 力 : 17 W(スタンバイ時 11 W)
形 式 : 5連奏ディスク方式コンパクトディスクプレーヤ
ディスク収納枚数 : 5枚(トレイインマガジン式)
信号読取方式 : 非接触光学式ピックアップ
信号フォーマット : CD-BGMフォーマット レベルB: 4ビット ADPCM (FM放送相当)、CD-DAフォーマット
チャンネル構成 : レベルB ステレオ4ch/モノラル8ch
演奏時間 : 1時間/チャンネル当たり
演奏形態 : 連続(曲順)演奏、シャッフル(ランダム)演奏
アクセス時間 : ディスク内 4秒以内
ディスクチェンジ時間 : 14秒以内
ライン出力(ステレオ出力、モノラル出力対応可)

端 子 : RCAピンジャック ライン出力L,R (ステレオ)、モノラルで使用する場合R側に接続 モノラル出力(L+R)
出力インピーダンス : 600 不平衡 (負荷インピーダンス 10 k)
出力レベル : +6 dBV (CDトップレベル時、負荷インピーダンス 10 k 時)
: 0 dBV (外部入力 0 dBV入力時、外部入力ボリューム最大時)
周波数特性 : 1 kHzに対して
CD-BGMディスク : 20 Hz(-1 dB±3 dB) ~ 16 kHz(-1 dB±3 dB)、ステレオ/モノラル共通
CD-DAディスク : 20 Hz(-1 dB±3 dB) ~ 20 kHz(-1 dB±3 dB)、ステレオ/モノラル共通
S / N 比 : 80 dB以上 (JIS- A)
クロストーク : 65 dB以上 (1 kHz)
ひずみ率 : 0.09 %以下 (CD-DAディスク 1kHz)、0.3 %以下 (CD-BGMディスク 1kHz)

外部入力(ステレオ入力、モノラル入力対応可)

端 子 : RCAピンジャック 外部入力L,R (ステレオ)、モノラルで使用する場合R側に接続
入力インピーダンス : 10 k 不平衡
入力レベル : 0 dBV (0 dBV出力、ボリューム最大)
入力検知 : -44 dBV以上

制御端子

スタート入力 : 無電圧メイク接点およびオープンコレクタ出力に適合 ネジターミナル
ストップ入力 : 無電圧メイク接点およびオープンコレクタ出力に適合 ネジターミナル
フェーダ入力 : 無電圧メイク接点およびオープンコレクタ出力に適合 ネジターミナル
連動出力 : オープンコレクタ出力、最大 DC25 V,0.1 A ネジターミナル (カード時、外部制御出力 4)
動作中出力 : リレー接点、接点容量 最大 DC30 V,0.5 A ネジターミナル
時計同期入力 : 有 極 : DC24 Vに適合 ネジターミナル
: メイク : 無電圧メイク接点およびオープンコレクタ出力に適合 ネジターミナル
連動入力(カード時) : 無電圧メイク接点およびオープンコレクタ出力に適合 ネジターミナル
外部制御出力 1 : オープンコレクタ出力、最大 DC25 V,0.1 A ネジターミナル
外部制御出力 2 : オープンコレクタ出力、最大 DC25 V,0.1 A ネジターミナル
外部制御出力 3 : オープンコレクタ出力、最大 DC25 V,0.1 A ネジターミナル

DIPスイッチ設定

1 番 目	: ON : ディスク優先	OFF : 外部優先
2 番 目	: : オートスタートON	: オートスタートOFF
3 番 目	: : 連動動作ON	: 連動動作OFF
4 番 目	: : 保持入力	: パルス入力
5 番 目	: : 内部時計	: 電源同期
7 番 目	: : AGC-ON	: AGC-OFF

モニタスピーカ : 38 mm 0.1 W

補助コンセント : 1個 最大3 A 非連動

停電保証 : 20日間

内部時計誤差 : ±15秒/月以下 (25° C、内部時計使用時)

使用温度範囲 : +5° C ~ +40° C

寸 法 : 420(幅) × 88(高さ) × 317(奥行) mm (突起部含まず)

質 量 : 約7 kg

仕 上 げ : パネル : AVアイボリー色 (マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)

付属品

ラックアングル 2 電源コード 1
ラック取り付けねじ 4

設定シート

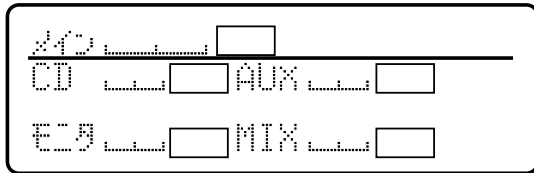
WB-655 設定シート

製造番号 : _____
 設定年月日 : 年 月 日 ()

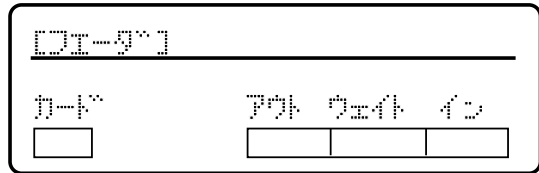
お客様名称 : _____
 電話番号 : () _____
 設置場所 : _____
 設置担当 : _____

設定モード

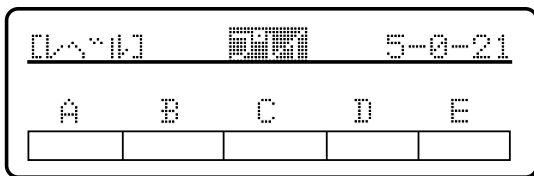
ボリューム設定モード



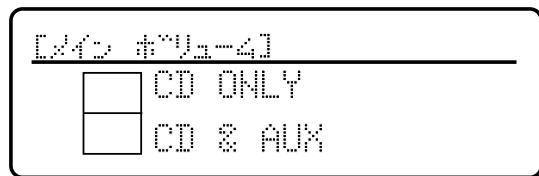
フェーダ設定モード



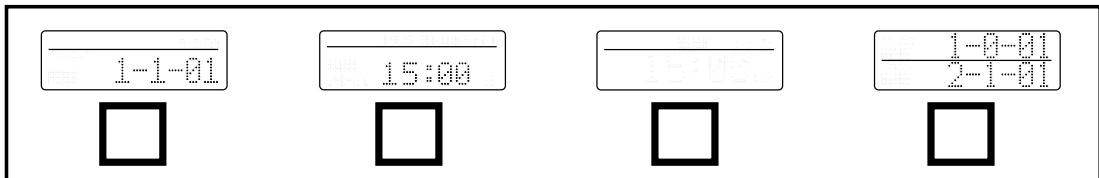
レベル調整モード



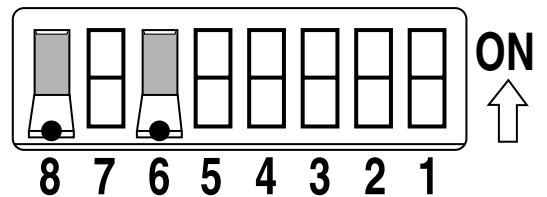
メインボリューム切換えモード



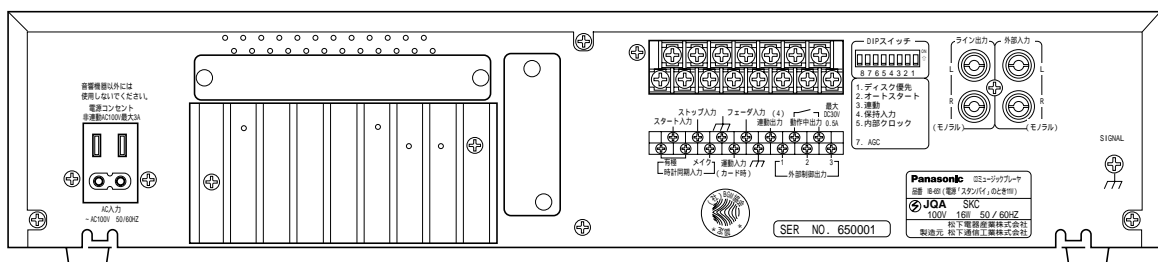
演奏表示選択モード



DIPスイッチの設定



接続内容



保証とアフターサービス(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。
修理は、サービス会社・販売会社の「修理相談窓口」
へ!

保証書(別添付)

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと保管してください。

保証期間:お買い上げ日から1年間

ただし、光ピックアップ、DCモーターは、
消耗品ですから保証期間内でも「有料」と
させていただきます

修理を依頼されるとき

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡
ください。

保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が出張修理
させていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により
有料で修理させていただきます。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お買い上げ年月日	年 月 日	品番	WB-655
販売店名	電話() -		

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 AVシステム事業部
〒224 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎(045)932-1231(大代表)
B0796-1116 A8QA4423BN